



i-Reporter

【講習会資料】 初期設定・帳票定義作成編

さっそく使ってみよう

(帳票定義作成・ConMas Manager基本操作)

Rev.2.0.0 2024.01.09

こちらの資料は「i-Reporter講習会 初期設定・帳票定義作成編」で使用するものです。

※ 「初期設定・帳票定義作成編」は、**集合形式で実施する講習会です**

オンライン形式の講習会は、「i-Reporter講習会 帳票定義作成編」の資料をご確認ください。

帳票定義作成編では、以下の内容を扱います。

- ConMas DesignerやConMas EXCEL COM Add-inを使った、帳票定義（タブレットで入力する「入力帳票」のひな形）の作成方法や使用頻度の多い機能の設定方法
- i-Reporterアプリでの入力帳票の操作と保存
- ConMas Manager（管理画面）を使った帳票定義の確認や入力帳票のデータ出力について

操作時に不明な点がありましたら、各ページの内容をご確認いただくか、講師または講習会アシスタントにお声がけください。

はじめに	4
帳票定義の作成	
① Excelファイルに行く準備	5
② ConMas Designerに取り込む	10
③ パラメーター設定/機能設定	15
④ カスタムマスター 帳票定義の準備	24
⑤ ネットワークの設定/バリューリンクの設定	36
⑥ バーコード分解機能	44
⑦ 帳票定義の公開	50
帳票定義の改訂	
登録済の帳票定義を改訂（リビジョンアップ）する	52
① Excelファイルの出力	54
② Excelファイルの編集	58
③ ExcelファイルのConMas Designerへの取り込み	60
④ パラメーター設定	64
⑤ カーボンコピー設定	67
⑥ 帳票名称自動作成	71
⑦ 帳票定義の公開	77
帳票定義や入力帳票の管理/入力データの出力	
ConMas Manager 操作概要	79

はじめに：i-Reporterを使うときの手順の確認と、ハンズオンの内容



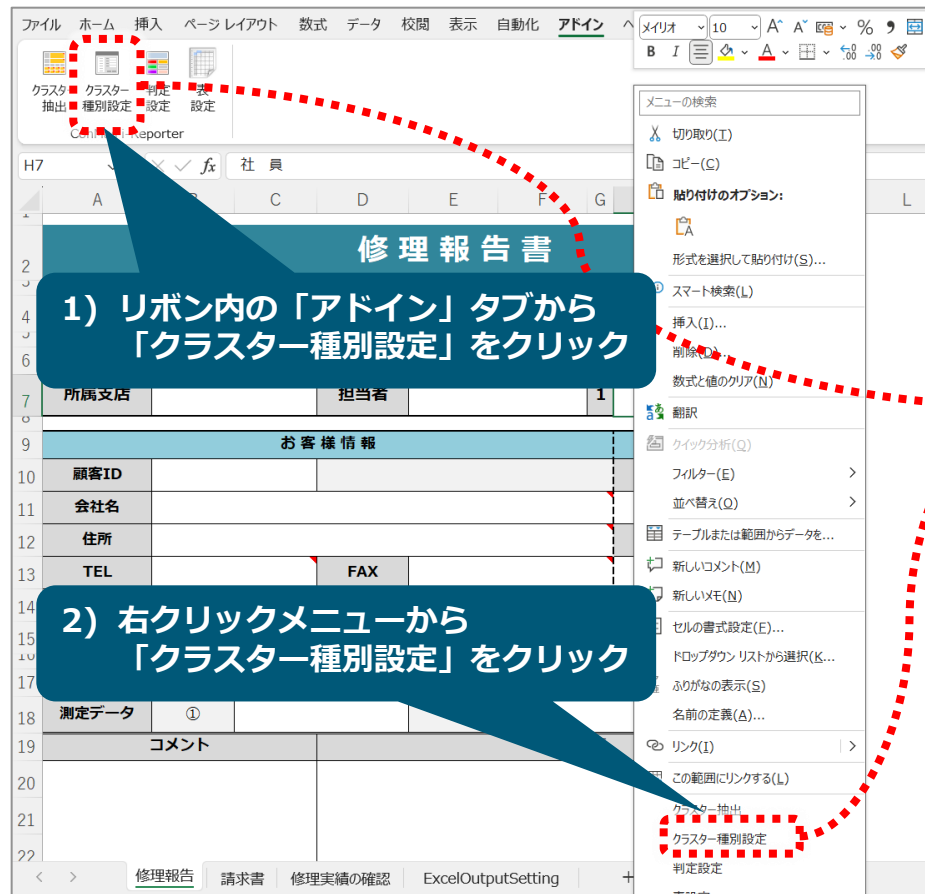
この時間では、内容を前半と後半に分け、前半は帳票定義の新規作成（①→②→③）、後半は前半で作成した帳票定義の改訂（②→①→②→③）と帳票定義/入力帳票の確認（④）を行います。

帳票定義の作成

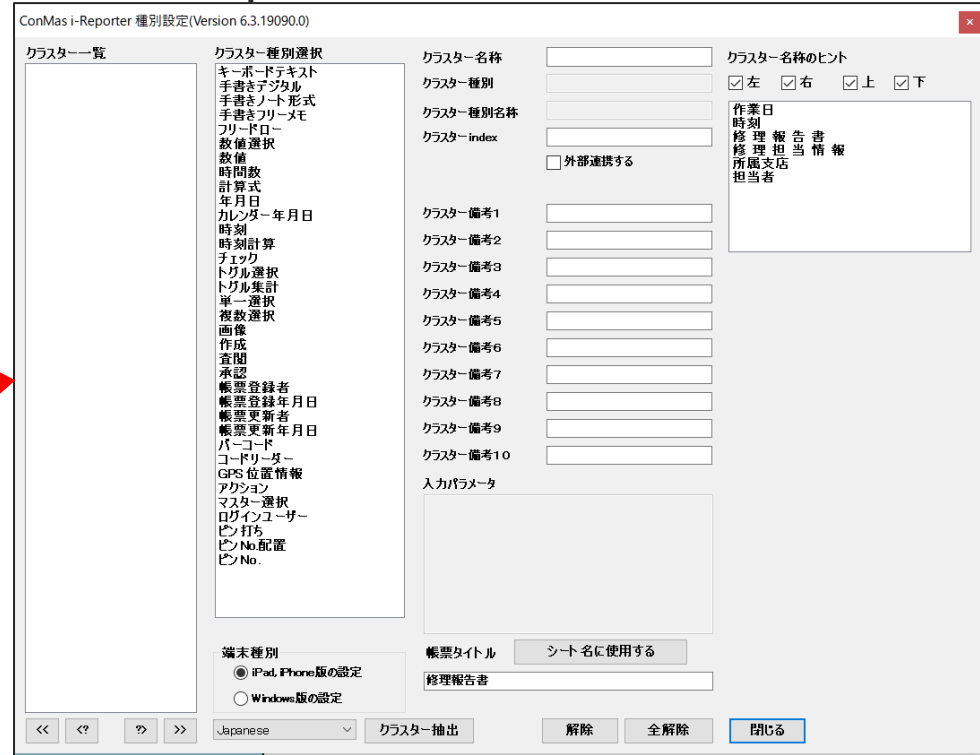
新規に登録する ①Excelファイルに行う準備

ConMas EXCEL COM Add-in (アドイン) の起動

- ① 事前にレイアウトを整えたExcelファイルを用意しておきます。
- ② ConMas i-Reporter種別設定画面を呼び出します。呼び出し方は以下の1)2)のいずれかになります。



「ConMas i-Reporter種別選択」画面



詳しい操作方法は以下の資料をご参照ください。

「ConMas EXCEL COM Add in Ver7.0 日本語 AI バージョン ご説明資料」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/add_in/ConMasEXCELAddin7.0_jp.pdf

i-Reporterアプリで入力するセルに対して、クラスターを設定

前ページからの続き

- ③ 設定を行なうセルをクリックして選択します。
- ④ ConMas i-Reporter種別設定画面で、タブレットでの入力方法（クラスター種別選択）とクラスター名称を設定します。
※ 「クラスター名称」は「クラスター名称のヒント」から選択、又は任意で文字列を入力して設定します。
未設定の場合「ConMas Designer」に取り込む際に自動生成されます。

修理報告書

作業日	時刻	
修理担当情報		
所属支店	担当者	
お客様情報		
TEL	FAX	
担当者		
保守契約の加入	加入	非加入
修理内容		
測定データ	①	②
コメント		

ConMas i-Reporter 種別設定 (Version 6.3.19090.0)

クラスター一覧
作業日
年月日

クラスター種別選択
キーボードテキスト
手書きデジタル
手書きノート形式
手書きフリーム
フリードロー
数値選択
数値
時間数
計算式
任意

クラスター名称
作業日
Date

クラスター名称のヒント
左 右 上 下
作業日
時刻
修理報告書
修理担当情報
所属支店
担当者

③ 設定を行なうセルをクリックして選択

④ 使用する種別をクリックして選択

④ クラスター名称を設定
- ヒント内からクリックして選択
または
- クラスター名称欄に直接入力

設定内容が表示

作業日

クラスター-備考1
クラスター-備考2
クラスター-備考3
クラスター-備考4
クラスター-備考5

帳票登録者
帳票登録年月日
帳票更新者
帳票更新年月日
バーコード
コードリーダー
GPS位置情報
アクション
メニュー選択
ログインユーザー
ピン打ち
ピンNo配置
ピンNo.

端末種別
 iPad, iPhone版の設定
 Windows版の設定

帳票タイトル
シート名に使用する
修理報告書

Japanese クラスター抽出 解除 全解除 閉じる

シートの印刷範囲の設定

帳票レイアウトの範囲を選択し、「印刷範囲の設定」を行います。

※ 各シートの印刷範囲で、帳票定義のシートが作成されます。



1ページ1シート

複数ページの帳票定義を作成する場合は、Excel の1シートごとに1ページとなるように作成します。

※ **1つのシートに複数ページの帳票定義を作成することはできません。**

講習時の操作

終了後は、元のファイルの「上書き保存」を行ってください。

後ほど行う操作の中で、再びこちらのEXCELファイルを開く機会がありますので、閉じずに最小化してください。

参考：クラスター自動抽出（講習時は操作しません）

講習時は進行に支障が出ますので、絶対に操作しないでください。

アドイン内の「クラスター抽出」をクリックすると、Excelファイルの内容から「帳票タイトル識別」「クラスターになると想定されるセルの識別」「クラスター名称候補の抽出」を自動で行えます。抽出内容の変更修正も簡単に行えます。

※ クラスター種別の自動判定を行う機能もあります（弊社のAIサーバーとの通信が必要です）。

① 「アドイン」リボン内の「クラスター抽出」をクリック

② セルの識別・名称候補の抽出が終わった状態

③ 帳票名の識別結果

④ クラスター名称の編集・変更も可能

③ クラスター毎に種別設定

帳票定義の作成

新規に登録する ②ConMas Designerに取り込む

EXCELファイルの取り込み

- ① ConMas Designerを起動し、ログインします。
- ② スタート画面左上の「帳票定義を作成する」をクリックします。
- ③ 「帳票定義情報設定」タブ画面にある「EXCELファイルから作成する」をクリックし作成したExcelを選択し取込みます。

The image shows three sequential screenshots of the ConMas Designer application. The first screenshot (labeled ①) is the login page with fields for 'ユーザーID' and 'パスワード', and a 'ログイン' button. The second screenshot (labeled ②) shows the main menu with '帳票定義を作成する' highlighted in the top left. The third screenshot (labeled ③) shows the '帳票定義情報設定' tab with 'EXCELファイルから作成する' highlighted in a red dashed box. Below the screenshots is a green box with a URL and a blue box with the title '講習時の操作'.

詳細資料は、サポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）

「帳票定義の作成 操作説明書」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/CreatingNewForm_jp.pdf

講習時の操作

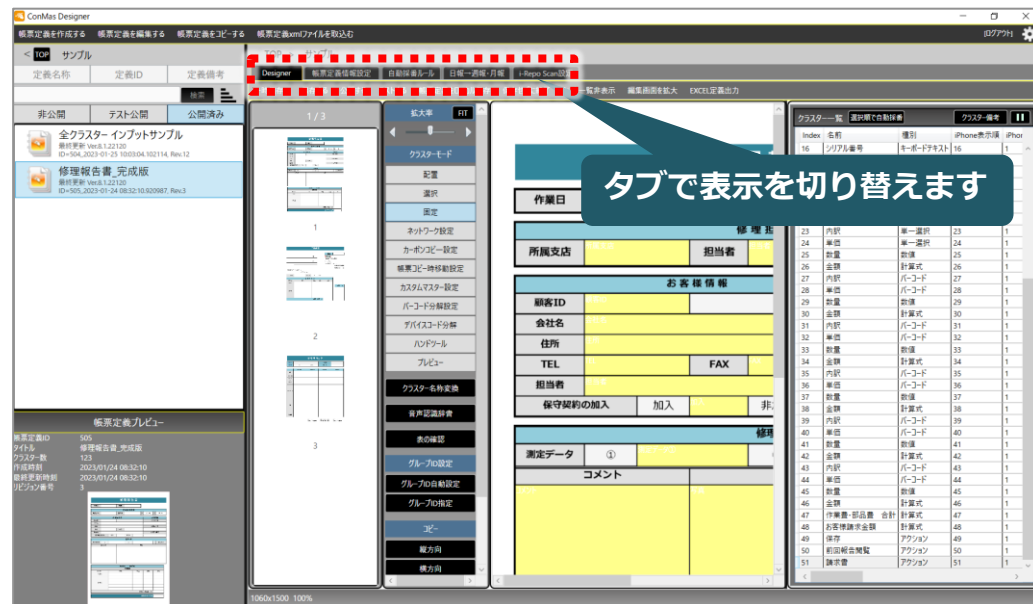
上記の手順に沿って、Excelファイルの取り込みを行ってください。

「Designer」タブと「帳票定義情報設定」タブ

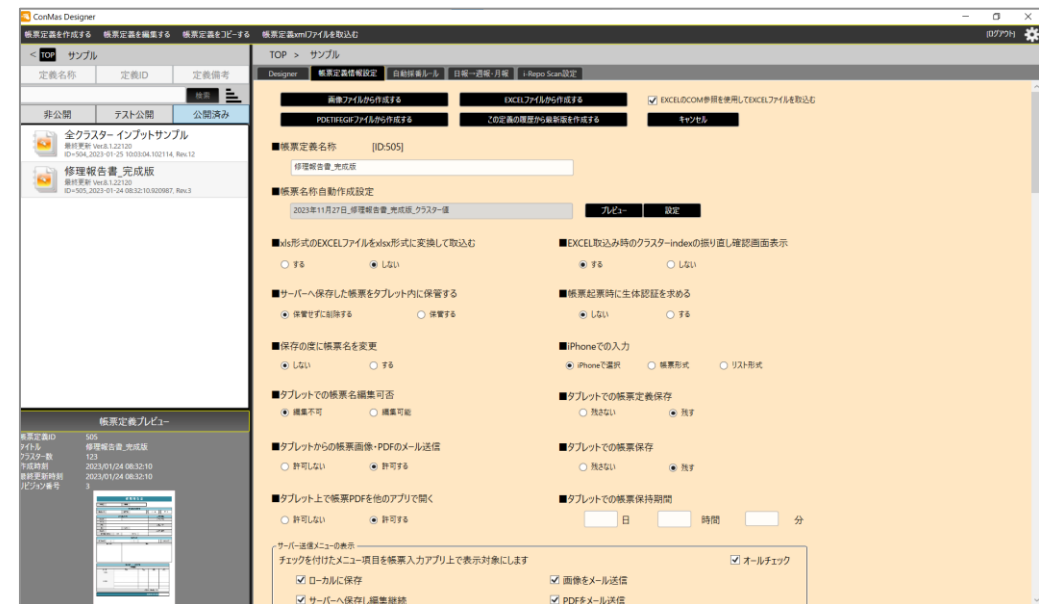
入力の仕組みを設定する「Designer」画面を使い、きめ細かな入力方法の設定ができます。

また、帳票定義/入力帳票に各種機能を設定する「帳票定義情報設定」タブ、「自動採番機能」や「バインダー機能」の設定に使用するタブもあります。

「Designer」画面

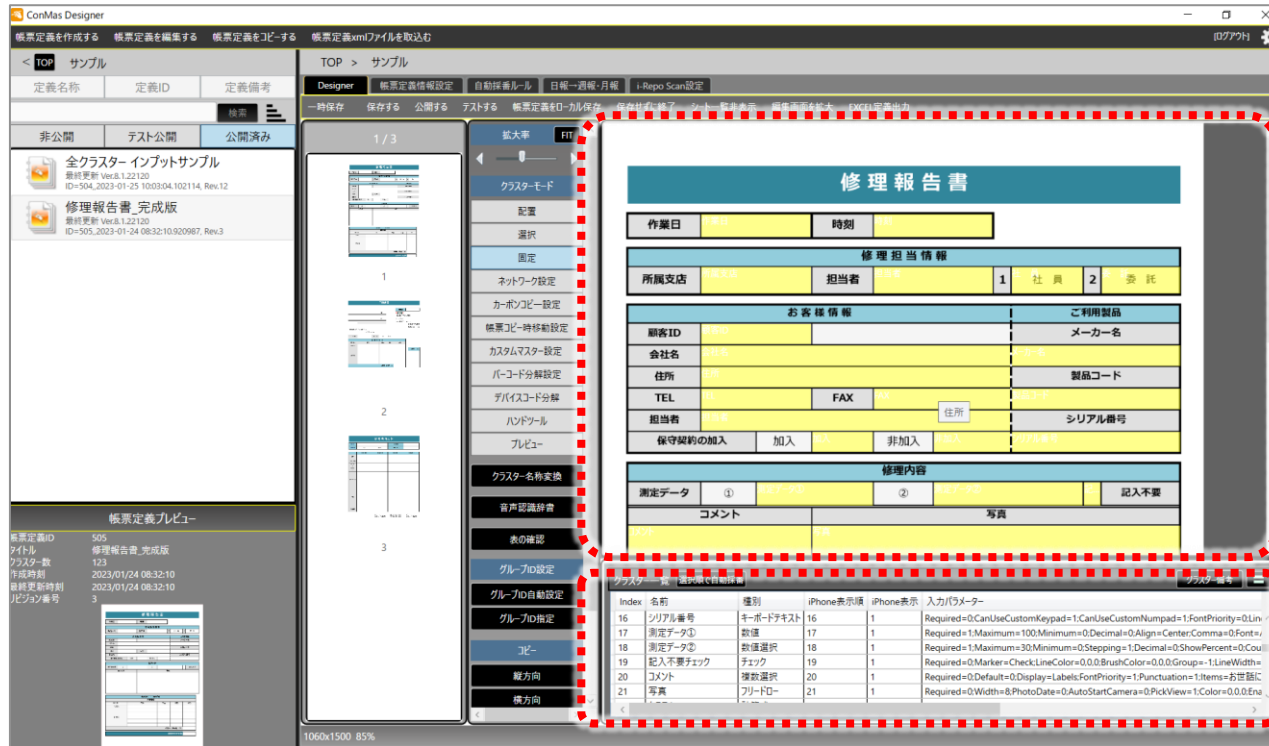


「帳票定義情報設定」画面



ConMas Designerの画面レイアウト

帳票編集エリアとクラスター一覧表示エリア



帳票編集エリア

クラスターを呼び出しパラメーター設定を行ったり、クラスターモードに合わせて各種設定を行ないます

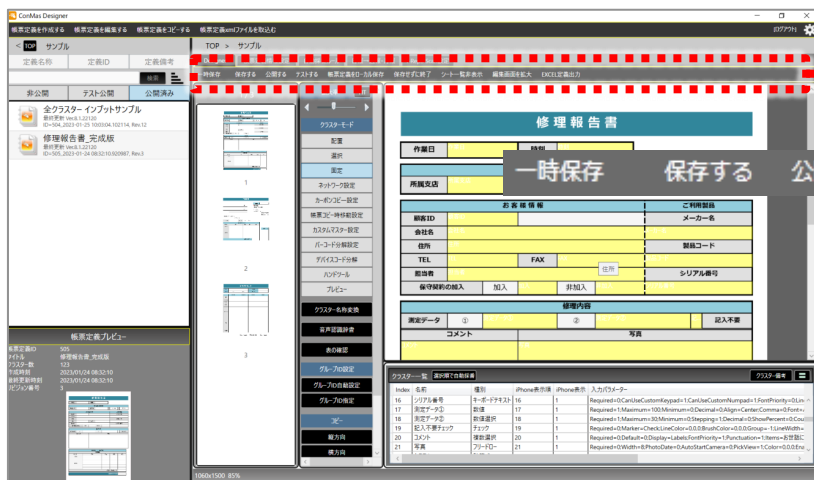
クラスター一覧表示エリア



シート内のクラスターを一覧表示します。右上のボタンで、帳票表示エリアの右側、又は下側に表示を切り替えられます

ConMas Designerの画面レイアウト

メインメニュー



一時保存

- ローカルに一時保存します。何らかの原因によりDesignerが異常終了した場合でも、次回ログイン時に最後に一時保存をした編集状態から再開できます

保存する

- 非公開でサーバーに保存します。

公開する

- 公開でサーバーに保存します。iPadアプリで見ることができます。

テストする

- テスト用にサーバーに保存します。
(i-Reporterアプリで「テスト帳票を表示する」設定の場合、確認できます)

帳票定義をローカル保存

- 帳票定義を x m l ファイルとしてローカルに保存します。

保存せずに終了

- 編集内容を破棄して編集画面を閉じます。

シート一覧非表示

- シートのサムネイル一覧を隠します。

編集画面を拡大

- ウィンドウ枠や帳票定義リストを隠し、編集画面を最大化します。

EXCEL定義出力

- Excelファイルから作成した帳票定義の「帳票定義情報」をExcelファイルに戻して、再び出力します。

帳票定義の作成

新規に登録する ③パラメーター設定/機能設定

入力ルールや書式設定設定を行う (入力パラメータ設定画面を開く)

- ① クラスターモードの「固定」を選択します (通常、帳票定義が表示された場合は「固定」が選択されています)。
- ② 詳細設定を行いたいクラスターをダブルクリックします。
- ③ 「入力パラメータ設定」タブのクリーム色の部分で、入力ルールや書式について設定し、OKをクリックします。

The screenshot shows the ConMas Designer software interface. On the left, a sidebar menu has '固定' (Fixed) selected under 'クラスターモード'. A red dashed box highlights this selection. A callout bubble points to it with the text: **クラスターモードは「固定」を選択します**. In the center, a preview of a '修理報告書' (Repair Report) form is shown. A red dashed box highlights a specific field in the form, and a callout bubble points to it with the text: **クラスターをダブルクリックし「入力パラメータ設定」を開きます**. On the right, a '入力パラメータ設定' (Input Parameter Setting) dialog box is open. A red dashed box highlights the top section of the dialog, which includes fields for '名前' (Name) and '種別' (Type), both set to '年月日'. A callout bubble points to these fields with the text: **クラスター名称、種別の確認/変更ができます**. Below this, another red dashed box highlights the '制約' (Constraints) section, which includes a '必須入力' (Required Input) checkbox and several radio button options. A callout bubble points to this section with the text: **入力ルールや書式などを設定できます**. The dialog box also shows settings for '日付書式' (Date Format), '曜日表示' (Day of Week Display), '横配置指定' (Horizontal Alignment), '縦配置指定' (Vertical Alignment), '書体指定' (Font), and '文字サイズ' (Font Size).

詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください (サポートWebはログインが必要です)
「ConMas Designer クラスター種別と入力パラメータ」
https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/ClusterType_SettingProcedure_jp.pdf

クラスターモード (各種機能を設定するための編集モード)

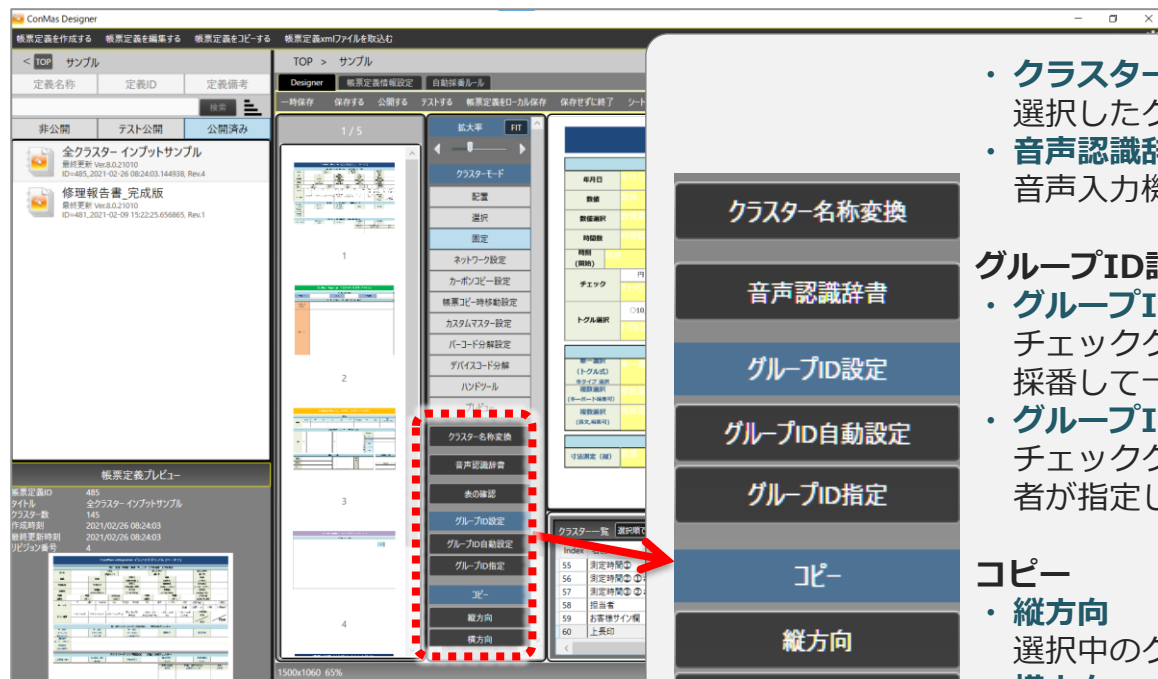
クラスターモード (1/2)



- **拡大率**
スライダーで表示倍率を変更できます。
- **FIT**
背景の全体がおさまるように表示倍率を変更します。
- **配置**
クラスターを作成、移動できます。
- **選択**
クラスターを移動できます。
- **固定**
クラスターを固定した状態で編集します。
- **ネットワーク設定**
ネットワークを作成、設定します。
- **カーボンコピー設定**
カーボンコピーを作成、設定します。
- **帳票コピー時移動設定**
帳票をコピーする時のクラスター間の値の移動を設定します。
- **カスタムマスター設定**
カスタムマスターの親子関係の紐付けを設定します。
- **バーコード分解設定**
バーコードを他のクラスターに分解して入力する設定を行います。
- **デバイスコード分解設定**
デバイスの読取コードの分解、各クラスターへの入力を設定。
バーコードを他のクラスターに分解して入力する設定を行います。
- **ハンドツール**
背景の表示位置を移動できます。
- **プレビュー**
ダミーテキストで入力イメージを表示します。

クラスターモード (各種機能を設定するための編集モード)

クラスターモード (2/2)



クラスター名称変換

選択したクラスターの名称を一括して変換します。

音声認識辞書

音声入力機能を使用する場合の辞書の設定を行います。

グループID設定

グループID自動設定

チェッククラスター/トグル選択クラスターのグループIDを、自動採番して一括設定します。

グループID指定

チェッククラスター/トグル選択クラスターのグループIDを、操作者が指定して一括設定します。

コピー

縦方向

選択中のクラスターを下方方向にコピーします。

横方向

選択中のクラスターを右方向にコピーします。

シート情報設定

シート情報設定画面を開きます。

シート名称/シート備考の編集、シート背景画像の入替えができます。

全シートコピー可/全シートコピー不可

シート単位で設定する「シートコピー可否」設定に関して、全シートを「シートコピー可」または「シートコピー不可」に一括して設定するボタンです。

各クラスターの設定内容

① クラスター名称：作業日

- ・ 「自動入力」を「編集開始時に日付を自動入力」に変更
- ・ 「日付書式」を任意の内容に変更
- ・ 「曜日の表示」は、表示する場合はチェックを入力

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前

種別

帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
帳票コピー時に デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示 iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
このクラスターにフォーカスして 入力待ちの状態起動する。
連携用テーブル 連携用テーブルに出力
サーバーからのEXCEL出力時 入力値ではなく表示値を出力する。
帳票コピー時の移動設定をされているためクラスター種別を変更することはできません。

制約

自動入力

無効
 編集開始時に日付を自動入力
 保存時に日付を自動入力
 タップ時に日付を自動入力

初回のみ更新
(空欄は初回として扱います)

タップで編集可能

日付書式

曜日の表示 曜日を表示する

横配置指定

縦配置指定

書体指定

デフォルトにする

② クラスター名称：時刻

- ・ 「制約」の必須入力にチェックを入力
- ・ 「自動入力」を「タップ時に時刻を自動入力」に変更
- ・ 「時刻書式」を任意の内容に変更

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前

種別

帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
帳票コピー時に デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示 iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
このクラスターにフォーカスして 入力待ちの状態起動する。
連携用テーブル 連携用テーブルに出力
サーバーからのEXCEL出力時 入力値ではなく表示値を出力する。

制約 必須入力

自動入力

無効
 編集開始時に時刻を自動入力
 保存時に時刻を自動入力
 タップ時に時刻を自動入力

初回のみ更新
(空欄は初回として扱います)

時刻書式

横配置指定

縦配置指定

書体指定

文字サイズ

デフォルトにする

各クラスターの設定内容

③ クラスター名称：所属支店

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前 所属支店

種別 単一選択

帳票コピー時に
帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
 デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示
このクラスターにフォーカスして
連携用テーブル iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
 入力待ちの状態で起動する。
 連携用テーブルに出力

サーバーからのEXCEL出力時 入力値ではなく表示値を出力する。

横配置指定 Center

縦配置指定

書体指定 Arial

文字サイズ 12

太さ Normal

文字色 Black

文字サイズを自動調整する

制約 必須入力

デフォルト表示 最初からデフォルトを表示する

入力形式選択 ロール形式で選択する トグル形式で選択する ライン形式で選択する

項目	値	ラベル	Default
	仙台支店	仙台支店	<input type="checkbox"/>
	東京支店	東京支店	<input type="checkbox"/>
	名古屋支店	名古屋支店	<input type="checkbox"/>
	大阪支店	大阪支店	<input type="checkbox"/>
	広島支店	広島支店	<input type="checkbox"/>
	福岡支店	福岡支店	<input type="checkbox"/>

ペースト

キーボード入力 キーボードで選択項目を追加する 選択した内容をキーボードで編集する

デフォルトにする

OK キャンセル

講習時の操作

- ・「入力形式選択」を「ライン形式で選択する」に変更します。
- ・「項目」に選択肢を設定（下記参照）します。
- ・「キーボード入力」の「キーボードで選択項目を追加する」にチェックを入力します。

あらかじめ選択項目のリストExcel等に用意し、これをコピーペーストで反映させることが可能です。

■ 教材の場合の操作方法

- ・帳票定義用ExcelファイルのM10～N15のセルに、選択肢をリスト化していますので、まずこれをコピーします。
- ・次に、パラメーター設定画面内の「項目」にある「ペースト」ボタンをクリックします。これで反映されます。

	L	M	N
6			
7		※1 所属支店	
8			
9		値	ラベル
10		仙台支店	仙台支店
11		東京支店	東京支店
12		名古屋支店	名古屋支店
13		大阪支店	大阪支店
14		広島支店	広島支店
15		福岡支店	福岡支店

メニューの検索

- 切り取り(I)
- コピー(C)
- 貼り付けのオプション:
- 形式を選択して貼り付け(S)...
- スマート検索(L)
- 挿入(I)...
- 削除(D)...

各クラスターの設定内容

⑤ クラスター名称：社 員

- ・ 「マーカー形状」を「楕円」に変更

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前 社員

種別 チェック

帳票コピー時に
帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
 デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示
このクラスターにフォーカスして iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
連携用テーブル 入力待ちの状態で起動する。
 連携用テーブルに出力

制約 必須入力

マーカー形状 楕円

線の色 Black

線太さ 2

グループID 0

外部システム連携
連携可否 連携する

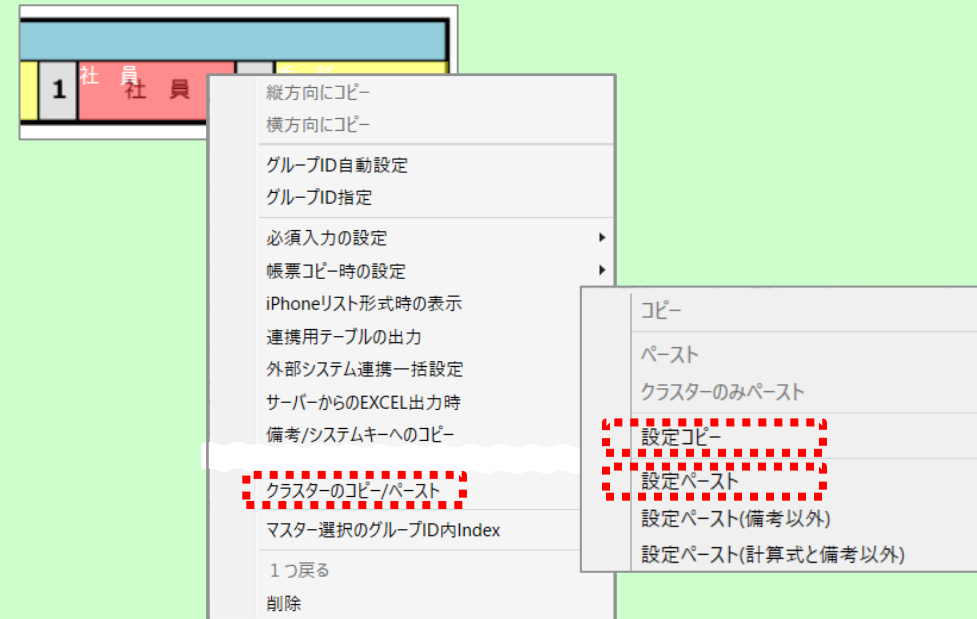
デフォルトにする

OK キャンセル

設定内容を、他のクラスターにコピーペーストで反映できます

■ 教材の場合の操作方法

- ・ 左の設定後、パラメーター設定画面を閉じてから「社員」のクラスター上で右クリックして、表示されたメニューの「クラスターのコピーペースト」にマウスを移動します。更に横に展開したメニューの「設定コピー」をクリックします。
- ・ 続いて「委託」クラスター上で右クリックし「クラスターのコピーペースト」に移動後、展開した「設定ペースト」をクリックします。



各クラスターの設定内容

前ページの続き

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前 社員

種別 チェック

帳票コピー時に
帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
 デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示
このクラスターにフォーカスして iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
連携用テーブル 入力待ちの状態で起動する。
 連携用テーブルに出力

制約 必須入力

マーカー形状 楕円

線の色 Black

線太さ 2

グループID 0

外部システム連携
連携可否 連携する

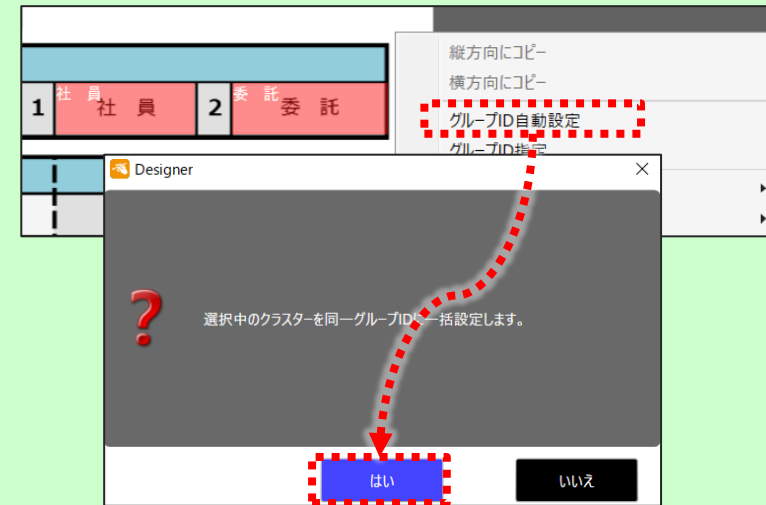
デフォルトにする

OK キャンセル

複数の「チェック」クラスターをグループ化し、グループ内で1つだけチェックが入力できるように設定する事が可能です

■ 教材の場合の操作方法

- ・ 「社員」「委託」2つのクラスターを選択状態にします。
- ・ いずれかのクラスター上で右クリックメニューから「グループID自動設定」をクリックし、確認ダイアログの「はい」をクリックします。
※ 複数のチェッククラスターを選択して上記の操作を行うと、選択した全てのクラスターをグループに設定できます。
(その中で1つだけチェックが入力できるようになります)



各クラスターの設定内容

⑧ クラスター名称 : コメント

The screenshot shows the 'Cluster Settings' dialog box for the 'Comments' cluster. The 'Name' field is set to 'コメント' and the 'Type' is '複数選択'. The 'Text Display Method' is set to '折り返して全体を常に表示する' and '選択項目をカンマで区切る' is checked. The 'Keyboard Input' section has '選択した内容をキーボードで編集する' checked. A table of items is shown below, with a red dashed box highlighting the '値' and 'ラベル' columns. The 'Default' column has checkboxes for each item.

項目	値	ラベル	Default
	お世話になっております。	お世話になっております。	<input type="checkbox"/>
	今回の修理では、	今回の修理では、	<input type="checkbox"/>
	部品を交換致しました。	部品を交換致しました。	<input type="checkbox"/>
	製品自体の交換が必要です。	製品自体の交換が必要です。	<input type="checkbox"/>
	異常が見つかりませんでした。	異常が見つかりませんでした。	<input type="checkbox"/>

講習時の操作

- ・「文字列表示方法」の右側にある「選択項目をカンマで区切る」のチェックを外します。
- ・「項目」に選択肢を設定（選択肢は、Excelファイル内にあります）
- ・「キーボード入力」の「選択した内容をキーボードで編集する」にチェックを入力します。

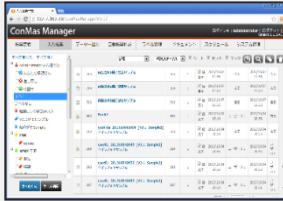
帳票定義の作成

新規に登録する ④カスタムマスター 帳票定義の準備

カスタムマスター入力に必要な設定手順

マスターの登録、マスター内の「フィールド」と帳票定義の「クラスター」との関連付けを行います

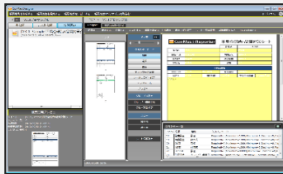
手順1 マスターの登録・更新



- ・ カスタムマスターで使用するデータを「CSV形式」で作成し、これをConMas ManagerからConMas Serverに登録する際の手順（カスタムマスター定義用Excelブックを使用）
- ・ マスターの変更を行う際の手順

この内容については活用編で行います。また動画講習会（VideoClass）にも説明動画がありますので、ご活用ください。

手順2 クラスターとの関連付け（本日の講習で行う内容）



- ・ 起動するカスタムマスターの設定
- ・ カスタムマスター内のレコードを選択した際、「マスター選択クラスター」に入力する「フィールド」を設定
- ・ カスタムマスターを使用した入力を行うクラスターと、マスターのフィールドとの関連付け

手順3 カスタムマスターを使った入力



- ・ タブレットを使用し入力を行う

手順2-1 「マスター選択」 クラスターの設定

入力に使用するカスタムマスターの割り当てと、関連付けするフィールドの選択を行います。
設定は、クラスターをダブルクリックしたパラメーター設定画面から行います。

「マスター選択」クラスターをダブルクリック

お客様情報				
顧客ID	顧客ID			
会社名	会社名			
住所	住所			
TEL	TEL	FAX	FAX	
担当者	担当者			
保守契約の加入	加入	加入	非加入	非加入

入力パラメーター設定画面

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前: 顧客ID
種別: マスター選択
帳票コピー時に: 入力値をコピーしない。
帳票コピー時に: デフォルト表示の設定を有効にする。
iPhoneのリスト形式時の表示: このクラスターにフォーカスして連携用テーブル

使用するカスタムマスターを選択

顧客ID: マスター選択
顧客ID: 入力フィールド設定

横配置指定: Left
縦配置指定: T
書体指定: A
文字サイズ: N
太さ: N
文字色: Black
 文字サイズを自動調整する

デフォルトにする

OK キャンセル

選択したマスターのフィールドのうち、このクラスターに入力するフィールドを選択

手順2-1 「マスター選択」 クラスターの設定 ①使用するマスターの割り当て

- ① 「マスター選択」 ボタンをクリックし、「カスタムマスターテーブル選択」画面を起動します。
- ② このクラスターが入力時に使用するカスタムマスターのテーブルを選択します（下記参照）。
- ③ 「マスター選択」 ボタンをクリックします。

「入力パラメーター設定」画面

入力パラメーター設定 クラスター備考

名前: 顧客ID

権別: マスター選択

① 「マスター選択」 ボタン

顧客マスタ_年間保守-担当支店

顧客ID

横配置指定: Left

縦配置指定: Top

書体指定: Arial

文字サイズ: 12

太さ: Normal

文字色: Black

文字サイズを自動調整する

デフォルトにする

OK キャンセル

「カスタムマスターテーブル選択」画面

カスタムマスターテーブル選択

③ クリックして閉じる

マスター選択 キャンセル

すべて閉じる すべて開く

選択	ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者
<input checked="" type="checkbox"/>	100	顧客マスタ_年間保守-担当支店	CustomerMaster001	不可		2018/06/16 15:45:36	cimtops
<input type="checkbox"/>	101	商品マスタ(Demo Sample)	BuiltInCustomMaster001	可能		2014/05/13 10:00:00	
<input type="checkbox"/>	102	ROBOTサンプル(Demo Sample)	BuiltInCustomMaster003	可能		2015/04/27 10:00:00	
<input type="checkbox"/>	101	顧客マスタ(Demo Sample)	BuiltInCustomMaster002	可能		2014/05/13 10:00:00	

② チェックを入れる

すべて開く

ラベルなし

- 修理報告書
- デフォルトカスタムマスター
- 全クラスターインポートサンプル

講習時の操作

選択するマスターテーブル（チェックを入れるマスター）は、「顧客マスタ_年間保守-担当支店」です。

手順2-1 「マスター選択」 クラスターの設定 ②クラスターに関連付けするフィールドの選択

- ① 「入力フィールド設定」をクリックし、マスター内のフィールド名称の一覧を表示します。
- ② このクラスターの入力値として使用する「フィールド名称」を1つ選択します（下記参照）。
- ③ 画面下の「OK」をクリックします。

入力パラメーター画面

入力パラメーター設定 クラスター備考

名前 顧客ID

種別 マスター選択

横書きコピー時に 入力値をコピーしない。
縦書きコピー時に デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示 iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
このクラスターにフォーカスして 入力待ちの状態で起動する。
連携用テーブル 連携用テーブルに出力

顧客マスタ_年間保守-担当支店 マスター選択

顧客ID 入力フィールド設定

横配置指定 Left

縦配置指定 Top

① 「入力フィールド設定」ボタン

太さ Normal

文字色 Black

文字サイズを自動調整する

制約 必須入力

デフォルトにする

OK キャンセル

※ この設定を行うには、先にマスターテーブルの
選択を行う必要があります（前頁参照）

親フィールド一覧画面

親フィールドの選択

顧客マスタ_年間保守-担当支店 最終更新日時:2022/02/07 14:21:12

フィールド名称	選択
レコードキー	<input type="checkbox"/>
顧客ID	<input checked="" type="checkbox"/>
会社名	<input type="checkbox"/>
Customer Name	<input type="checkbox"/>
住所	<input type="checkbox"/>
Address	<input type="checkbox"/>
電話番号	<input type="checkbox"/>
TEL	<input type="checkbox"/>
支払条件	<input type="checkbox"/>
Payment Term	<input type="checkbox"/>
単価	<input type="checkbox"/>
単位	<input type="checkbox"/>
Units	<input type="checkbox"/>
担当者	<input type="checkbox"/>
前回訪問日	<input type="checkbox"/>
年間保守加入	<input type="checkbox"/>
年間保守非加入	<input type="checkbox"/>
担当支店	<input type="checkbox"/>

②チェックを入れる

マスター内のフィールド一覧

③OKをクリック

OK キャンセル

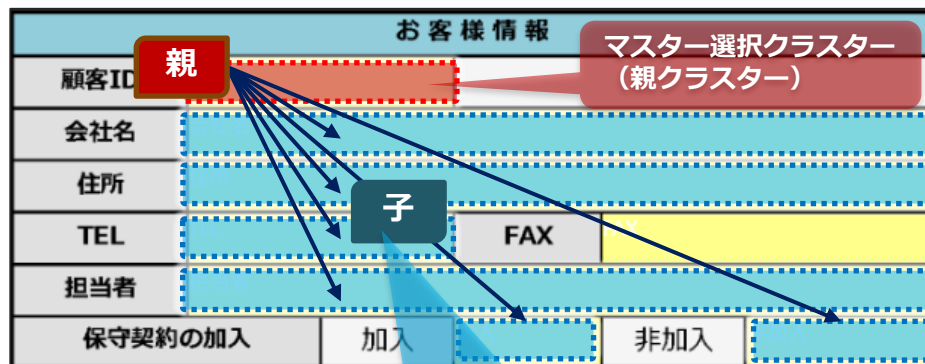
講習時の操作

チェックを入れるフィールド名称は「顧客ID」です。

手順2-2 マスター選択クラスターとの「親子設定」

「マスター選択」クラスターを「親」、「親」のクラスターが呼び出すカスタムマスターテーブル内のフィールドを使用して入力するクラスターを「子」として、個々のフィールドとクラスターを関連付けする設定（これを「親子設定」と呼びます）を行います。

マスター選択クラスターと各入力クラスター間の「親子設定」のイメージ



マスターのフィールドと関連付けされたクラスター（子クラスター）

クラスターとカスタムマスターのフィールドを関連付けする画面（子フィールドの選択）

子フィールドの選択

クラスター名称: 会社名
クラスター種別: キーボードテキスト

顧客マスター年間保守-担当支店 最終更新日時:2018/06/16 16:54:52

フィールド名称	選択
レコードキー	<input type="checkbox"/>
顧客ID	<input type="checkbox"/>
会社名	<input checked="" type="checkbox"/>
Customer Name	<input type="checkbox"/>
住所	<input type="checkbox"/>
Address	<input type="checkbox"/>
電話番号	<input type="checkbox"/>
TEL	<input type="checkbox"/>
支払条件	<input type="checkbox"/>
Payment Terms	<input type="checkbox"/>
単位	<input type="checkbox"/>
Units	<input type="checkbox"/>
担当者	<input type="checkbox"/>
担当支店	<input type="checkbox"/>

設定するクラスターの名称と種別

使用するフィールド名称にチェック

設定済みのフィールドを非表示

OK キャンセル

「クラスターモード」にある「カスタムマスター設定」をクリックします。

（「マスター選択クラスター」のみ緑色で表示されます）

**クラスターモードの
カスタムマスター設定を選択**

クラスターモードが
「カスタムマスター設定」の時、
「マスター選択」クラスターが
緑色で表示されます。

クラスターモードに連動して、
グリッドの表示が「カスタム
マスター設定 一覧」に変わ
ります。

作業日	作業日	時刻
所属支店	所属支店	担当者
顧客ID	顧客ID (親)	メーカー名
会社名	会社名	
住所	住所	
TEL	TEL	FAX
担当者	担当者	
保守契約の加入	加入	加入
測定データ	① 測定データ①	測定データ②
	記	記入不要

カスタムマスター設定 一覧						
親シートNo.	親Index	親クラスター名称	子シートNo.	子Index	子クラスター名称	フィールドNo.

講習時の操作

クラスターモードを「カスタムマスター設定」を選択し、続いて「顧客ID」クラスターを1度クリックします。

2-2 マスター選択クラスターとの「親子設定」

② 「親」クラスターの指定

「マスター選択クラスター（緑色で表示されているクラスター）」のうち、「親」となるクラスターをクリックし選択します（クリックすると、赤色に変わります）。

※ 選択状態を解除するには、もう一度同じクラスターをクリックします。

お客様情報				
顧客ID	顧客ID (親)			
会社名	会社名			
住所				
TEL				
担当者	担当者			
保守契約の加入	加入	加入	非加入	非加入

親にしたいマスター選択クラスターをクリックすると、色が赤に変わります

お客様情報				
顧客ID	顧客ID (顧客ID)			
会社名	会社名			
住所	住所			
TEL	TEL	FAX	FAX	
担当者	担当者			
保守契約の加入	加入	加入	非加入	非加入

※もう一度クリックすると、緑色に戻ります

選択したクラスター右下に、このクラスターに設定されているカスタムマスターのフィールド名称が表示されます。

顧客ID	(顧客ID)
顧客マスター 年間保守-担当支店	マスター選択
顧客ID	入力フィールド設定

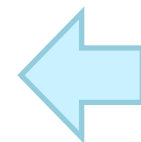
- ① 「子」となるクラスターをクリックすると、「子フィールド選択」画面が起動します。
※ クリックしたクラスターで選択可能なフィールド名称が表示されています。
- ② このクラスターに関連付けするフィールドを選び、フィールド名称の右にある「選択」にチェックを入れます。
- ③ 選択後「OK」をクリックすると、「子」クラスターの色が青に変わり、設定済であることが確認できます。
※ 「子」クラスターで起動したフィールド一覧画面には、「親」クラスターで設定したフィールドは画面に表示されません。

お客様情報				
顧客ID	顧客ID	(顧客ID)		
会社名	会社名			
住所	住所			
TEL	TEL	FAX	FAX	
担当者	担当者			
保守契約の加入	加入	非加入	加入	

① 「子」となるクラスターをクリック

お客様情報				
顧客ID	顧客ID	(顧客ID)		
会社名	会社名 (会社名)			
住所	住所			
TEL	TEL	FAX	FAX	
担当者	担当者			
保守契約	保守契約			

④ 設定後は「子」クラスターが青色に変わる
(併せて、選択したフィールド名が表示)



子フィールド選択画面

子フィールドの選択

クラスター名称: 会社名
クラスター種別: キーボードテキスト

顧客マスタ年間保守-担当支店 最終更新日時:2018/06/16 16:54:52

フィールド名称	選択
レコードキー	<input type="checkbox"/>
顧客ID	<input type="checkbox"/>
会社名	<input checked="" type="checkbox"/>
Customer Name	<input type="checkbox"/>
住所	<input type="checkbox"/>
Address	<input type="checkbox"/>
Payment Terms	<input type="checkbox"/>
単位	<input type="checkbox"/>
Units	<input type="checkbox"/>
担当者	<input type="checkbox"/>
担当支店	<input type="checkbox"/>

② 入力値として使用する項目にチェック

③ [OK]をクリック

設定済みのフィールドを非表示

講習時の操作

設定するクラスターとフィールドの組合せは、以下を行います。

クリックする クラスター	チェックする フィールド名称
会社名	会社名
住所	住所
TEL	TEL
担当者	担当者
(保守契約の加入) 加入	年間保守加入
(保守契約の加入) 非加入	年間保守非加入

【ご参考】フィールド型について

- ・ カスタムマスターの「レコード情報」を準備する際、それぞれのフィールドに対し、関連付けを行うクラスターの「種別」を考慮した設定（フィールド型）を行う必要があります。
- ・ フィールド型は、以下の6つです。子フィールドの選択時には、この相関に合致したフィールドのみが表示されます。

フィールド型	関連付け可能な「クラスター種別」
text	キーボードテキスト、手書きデジタル
Numeric	数値、時間数
Date	年月日、カレンダー年月日
Time	時刻
Bool	チェック
image	フリードロー、画像、手書きフリーメモ

詳細は活用編でご紹介しますが、サポートWEBにログインし、活用編の講習会資料や動画講習会（VideoClass）からも、確認できます。

カスタムマスター設定 補足：「カスタムマスター設定一覧」を使った、設定内容の変更

① 子クラスターに指定したフィールドを変更する場合

- 設定変更を行う内容が書かれている行で右クリックし、「カスタムマスターの子フィールド設定」をクリックします。「子フィールドの設定」画面が起動しますので、変更するフィールド名にチェックを入れ直し「OK」をクリックします。

The screenshot shows the 'Custom Master Settings Overview' table with a right-click menu open over the first row. The menu options are 'カスタムマスターの子フィールド設定' (Child Field Setting) and 'カスタムマスターの親子設定の削除' (Delete Parent-Child Setting). A blue arrow points from the 'Child Field Setting' option to the 'Child Field Selection' dialog box on the right. The dialog box shows the cluster name '会社名' and cluster type 'キーボードテキスト'. It lists fields for selection: 'レコードキー', '顧客ID', '会社名', 'Customer Name', '住所', 'Address', '電話番号', 'TEL', '支払条件', 'Payment Terms', '単位', 'Units', '担当者', and '担当支店'. The '会社名' checkbox is checked. At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

親シートNo.	親Index	親クラスター名称	子シート	右クリックメニュー	名称	フィールドNo.	フィールド名称	
1	6	顧客ID	1	カスタムマスターの子フィールド設定				
1	6	顧客ID	1		カスタムマスターの親子設定の削除			
1	6	顧客ID	1		13	担当者	13	担当者
1	6	顧客ID	1		14	加入	14	年間保守加入
1	6	顧客ID	1		15	非加入	15	年間保守非加入

② 親子設定を削除する場合

- ①と同じ右クリック操作から「カスタムマスターの親子設定の削除」をクリックして実行します。

The screenshot shows the 'Custom Master Settings Overview' table with a right-click menu open over the first row. The menu options are 'カスタムマスターの子フィールド設定' (Child Field Setting) and 'カスタムマスターの親子設定の削除' (Delete Parent-Child Setting). The 'Delete Parent-Child Setting' option is highlighted with a red dashed border.

親シートNo.	親Index	親クラスター名称	子シートNo.	子Index	子クラスター名称	フィールドNo.	フィールド名称
1	6	顧客ID	1				
1	6	顧客ID	1				
1	6	顧客ID	1				
1	6	顧客ID	1				
1	6	顧客ID	1	14	加入	14	年間保守加入
1	6	顧客ID	1	15	非加入	15	年間保守非加入

カスタムマスターについての詳細は、以下の各資料をご参照ください

「ConMas Designer 帳票定義のカスタムマスター設定」（帳票定義の設定方法等）

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/CustomMasterSetting_Designer_jp.pdf

(ご参考)

「カスタムマスターテーブルの作成方法」に関するマニュアル

「カスタムマスター管理」（マスターテーブル作成方法/ConMas Managerを使った管理等）

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/manager/CustomMasterManagement_in_ConMasManager_jp.pdf

また、講習会（活用編）の資料でも確認できます（下記の文字をクリックすると開きます）

[講習会ドキュメント_カスタムマスター（マスターの登録と更新）](#)

「i-Reporterアプリで行う入力操作」に関するマニュアル

「ConMas i-Reporter カスタムマスターを利用した入力」（端末操作等）

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/ios_app/iOS_AppInput_from_CustomMaster_jp.pdf

※ご覧いただくには、「ConMas i-ReporterサポートWeb」のログインID及びパスワードが必要です。

帳票定義の作成

新規に登録する ⑤ネットワークの設定/バリューリンクの設定

ネットワークとは

2つのクラスターを「先行」「後続」として、クラスター相互の入力順番を設定することができます
また、設定により以下の制限などを行うことも可能です

- ・ 「先行」で入力する選択肢と「後続」で表示する選択肢の組合せを行なう（バリューリンク設定）。
- ・ 「先行」に入力を行うことで「後続」に記入不要マークを表示する。

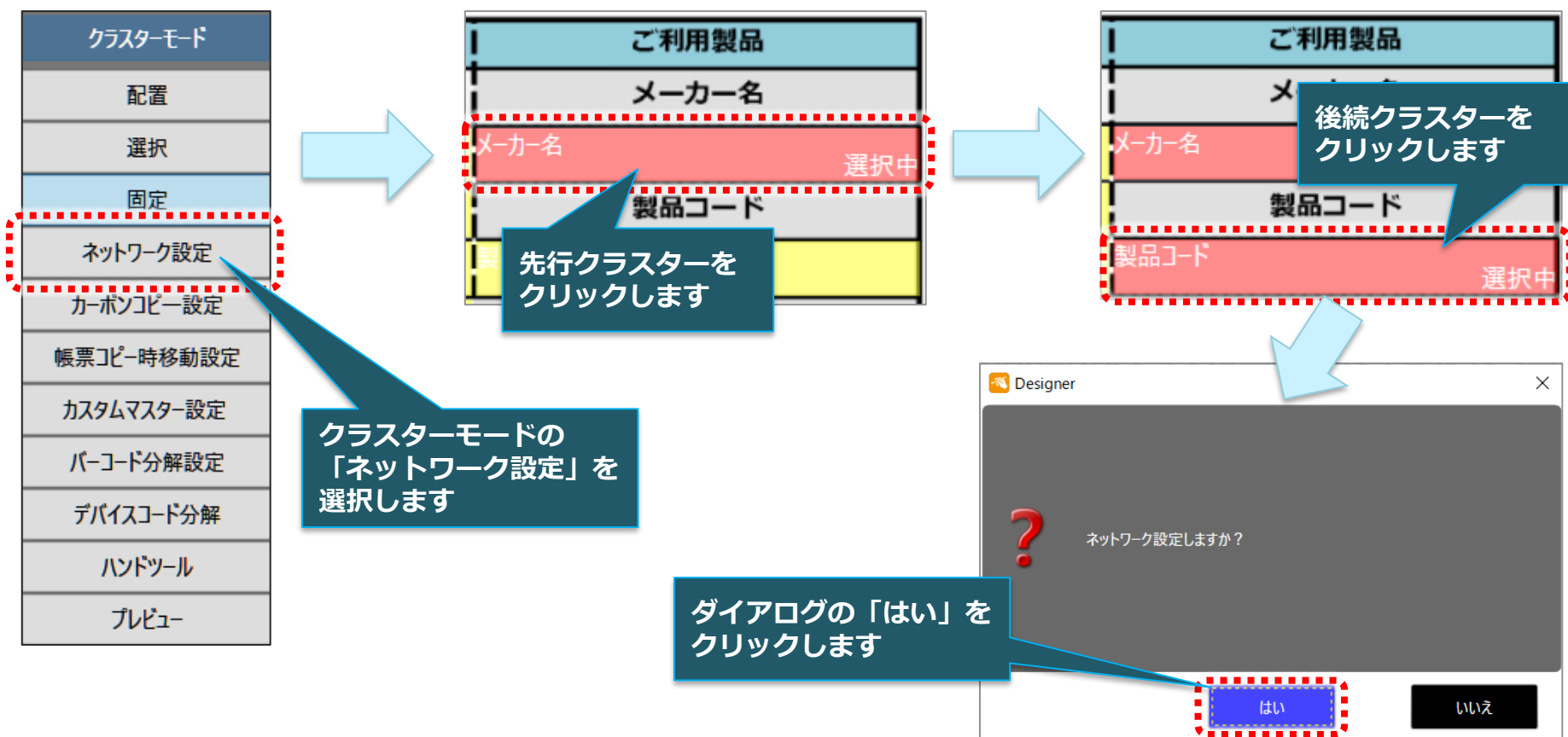
ネットワーク設定の例

製品		入力項目1	製番	入力項目2	部品名	入力項目3	年月日	入力項目4
NO.	チェック内容	確認ツール	合否	チェックコメント				
①	検査結果表の寸法は全て記入されているか	検査結果表	入力項目5	入力項目6				
②	公差NGがある場合の対策はとられているか	検査結果表	入力項目7	入力項目8				

詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）
「ConMas Designer ネットワーク / カーボンコピー 操作説明書」
https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/Network_CarbonCopySetting_jp.pdf

ネットワーク 設定の方法

- ・ クラスターモードを「ネットワーク設定」に切り替えます。
- ・ 「先行」→「後続」の順番でクラスターをクリックし、確認のダイアログにある「はい」をクリックして設定します。



バリューリンク

種別が「単一選択」のクラスター間でネットワークを設定した場合で、例えば先行が「種別」、後続が「品番」など、双方に「選択肢の組合せ」がある入力の場合、相互の選択肢を組み合わせる設定です。本来存在しない「異なった組み合わせによる誤入力」を防ぐことができます。

メーカー名：「AAA社」
製品コード：A-001 / A-002 / A-003

ご利用製品	
製品コード	メーカー名
キーボード OK	AAA社
	製品コード
	シリアル番号
A-001	
A-002	
A-003	

メーカー名：「BBB社」
製品コード：B-001 / B-002 / B-003

ご利用製品	
製品コード	メーカー名
キーボード OK	BBB社
	製品コード
	シリアル番号
B-001	
B-002	
B-003	

メーカー名：「CCC社」
製品コード：C-001 / C-002 / C-003

ご利用製品	
製品コード	メーカー名
キーボード OK	CCC社
	製品コード
	シリアル番号
C-001	
C-002	
C-003	

バリューリンク 設定手順①

- ・ あらかじめ「ネットワーク」の設定を行います。
- ・ 次に「ネットワーク一覧」の該当する行で右クリックし、「バリューリンク設定」をクリックします。

お客様情報

お客様情報				ご利用製品	
顧客ID	顧客ID	ネットワークを設定する		メーカー名	
会社名	会社名			製品コード	
住所	住所			製品コード	
TEL	TEL	FAX	FAX	製品コード	
担当者	担当者			シリアル番号	
保守契約の加入		加入	加入	非加入	非加入
				シリアル番号	

ご利用製品

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続クラスター名称	バリューリンク	Skip	後続自動移動	大小関係	必須連携
⇔	1	19	記入不要チェック	1	18	測定データ②	False	0	0		False
⇔	1	19	記入不要チェック	1	17	測定データ①	False	0	0		False
⇔	1	8	メーカー名	1	12	製品コード	True	2	1		False
⇔	1	23	内訳	1	24						False

ネットワーク一覧

右クリックメニュー

- バリューリンク設定
- ネットワーク必須連携
- マスター選択デフォルト検索値設定
- ネットワークコピー
- ネットワーク設定ペースト
- ネットワーク削除

バリューリンク設定を選択

講習時の操作

- ① 「メーカー名」が先行、「製品コード」が後続となるように、ネットワークを設定します。
- ② 「ネットワーク一覧」の「先行クラスター名称」が「メーカー名」の行を右クリックし、表示されたメニュー内の「バリューリンク設定」をクリックします。

バリューリンク 設定手順②

設定画面が表示されます。左は先行、右は後続のクラスターに設定された、それぞれの選択肢です。

左右の選択肢で、相互の組合せを行なう項目の「対象」のチェックボックスに入力後、「反映」をクリックします。

講習時の操作

「メーカー名」 チェックする選択肢	「製品コード」 チェックする選択肢
AAA社	A-001、A-002、A-003
BBB社	B-001、B-002、B-003
CCC社	C-001、C-002、C-003

設定後「OK」をクリックします。

設定変更/削除は以下のように行います

①変更修正を行う場合

- ・ 設定画面下の「バリューリンク一覧」で、該当の行をクリックし、続いて「編集」ボタン（黒色のボタン）をクリックします。
- ・ 該当行の状態がチェックボックスに表示されるので、新たな内容に変更後「反映」をクリックします。

②バリューリンク設定を解除する場合

- ・ 「ネットワーク削除」を行うか、設定画面の下部にある「バリューリンク一覧」から全ての項目を削除します。

ネットワーク：補足（後続クラスターの自動入力）

「ネットワーク」を設定したクラスター間で、「先行」のクラスターに入力を行うと「後続」のクラスターを入力開始状態にすることができます。承認クラスターの承認入力後に、入力日を自動入力する、といった操作が可能です。

※ トグル選択クラスターなど、入力完了タイミングを特定できないクラスターが先行の場合は動作しません。

クラスターモードはネットワーク設定

右クリックメニューで、「ネットワーク制限設定」を選択

「後続クラスターの自動入力」で
■ 先行クラスターに値を入力したときの選択を「後続クラスターに値を入力する」にチェックを入れる

先行クラスター未入力時の後続クラスターの入力制御
● 制限なし ○ 警告を表示して入力許可 ○ 入力不可

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示
○ しない ● する

記入不要マークを表示
● しない
○ 先行クラスター入力時に、すべての後続クラスターに表示する
○ 先行または後続いずれかのクラスター入力時に、もう一方の全クラスターに表示する

後続クラスターの自動入力
■ 先行クラスターに値を入力したとき
● 後続クラスターに値を入力する ○ 無効
□ 後続クラスターを編集可能にする

■ 先行クラスターの入力値をクリアしたとき
● 後続クラスターに値を入力する ○ 後続クラスターをクリアする ○ 無効

OK

写真の貼り付け

画像 1 2

入力値からQRコードを

作業日 2023年12月25日

先行クラスター操作後、後続クラスターに値が入力される

ネットワーク：補足（記入不要マーク表示機能）

「必須クラスターが記入する必要がなくなった」場合に、この機能を使って「記入不要マーク」を表示することができます。クラスターが「入力済」と同じ扱いになり、完了保存ができるようになります。

The screenshot shows the software interface with the 'ネットワーク設定' (Network Settings) menu item highlighted in the left sidebar. A right-click menu is open over the 'ネットワーク一覧' (Network List) table, with '記入不要マーク表示' (Non-required Mark Display) selected. A dialog box titled '記入不要マークを表示' (Display Non-required Mark) is shown on the right, containing the following options:

- 先行クラスター未入力時の後続クラスターの入力制御
 制限なし 警告を表示して入力許可 入力不可
- タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示
 しない する
- 記入不要マークを表示
 しない
 先行クラスター入力時に、すべての後続クラスターに表示する
 先行または後続いずれかのクラスター入力時に、もう一方の全クラスターに表示する

The 'ネットワーク一覧' table contains the following data:

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続クラスター名称
⇒	1	19	記入不要チェック	1	17	測定データ①
⇒	1	6	メーカー名	1	12	製品コード
⇒	1	23	内訳	1	24	単価

詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）

「未入力クラスターの記入不要マーク表示機能」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/Using_Non-requiredMark_jp.pdf


帳票定義の作成

新規に登録する ⑥バーコード分解機能

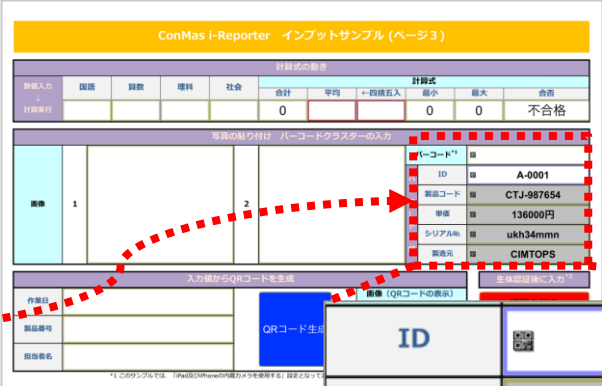
バーコード分解機能とは

「バーコード」クラスターで、バーコード/QRコード（以下「バーコード」と表記します）を読み取り、結果を複数のクラスターに分解して入力することができます。

区切り文字（カンマ/タブ）やバイト数指定で配置されている「固定の位置にあるデータ」と「クラスター」間で「組合せ」を行い、読み取った値を各クラスターに入力する機能です。



データの並び順 (カンマ区切り)	データの 内容	データ
1	ID	A-0001
2	製品コード	CTJ-987654
3	単価	136000円
4	シリアルNo.	ukh34mmn
5	製造元	CIMTOPS



読み取り結果

ID	A-0001
製品コード	CTJ-987654
単価	136000円
シリアルNo.	ukh34mmn
製造元	CIMTOPS

詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）

「ConMas Designer バーコード分解設定」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/barcode_SeparateInsertFunction_jp.pdf

バーコード分解 設定手順 ①読み取りデバイスの指定

種別が「バーコード」のクラスターで、デバイスを起動するクラスター（「分解元」といいます）のパラメーター設定画面を開き、「読み取りデバイスの指定」に、読み取りで使用するデバイスを指定します。

講習時の操作

- 部品費の内訳のクラスター（下の赤点線）をダブルクリックし、パラメーター設定画面を開きます（右の画像を参照）。

修理費用 ・ 請求内容			
費用明細			
費用項目	内訳	単価	数量
作業費	内訳	単価	数量
	内訳	単価	数量
部品費	内訳	単価	数量
	内訳	単価	数量
	内訳	単価	数量
	内訳	単価	数量

- 「読み取りデバイスの指定」で「内蔵カメラ」を選択します。
※ Windows版で受講されている方は、本日は上記の設定のみを行ってください（入力操作は行わなくて結構です）

種別「バーコード」のパラメーター設定画面

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前: 内訳
種別: バーコード

帳票コピー時に
帳票コピー時に
 入力値をコピーしない。
 デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示
このクラスターにフォーカスして
連携用テーブル
 iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
 入力待ちの状態起動する。
 連携用テーブルに出力

バーコード分解設定されているためクラスター種別を変更することはできません。

制約 必須入力
行数: 1
読み込んだ文字列 数値として扱う

読み取りデバイスの指定
 内蔵カメラ (iOSデバイスのみ指定可能)
 外付けバーコードリーダー
 アプリで選択する (iOSデバイスのみ指定可能)

デフォルト起動カメラ
 背面 前面

横配置指定: Left
縦配置指定: []

デフォルトにする

OK キャンセル

「読み取りデバイスの指定」補足

- 【内蔵カメラ】** iPad/iPhone内蔵のカメラを使用する場合に選択します。
※ WindowsPCではOSで内蔵カメラを使ったコード読み取りの機能を持っていないため、こちらは選択しません。
- 【外付けバーコードリーダー】** 接続可能なバーコードリーダーを使用する場合に選択します
※ Windows/iPad/iPhoneいずれも使用可能です。
- 【アプリで選択する】** クラスターを起動してから、上記いずれかを選択します

バーコード分解 設定手順 ②区切り文字の確認

- ・ クラスターモードを「バーコード分解設定」にします。
※ 種別が「バーコード」のクラスターが緑色で表示され、他のクラスターの編集はできません。
- ・ デバイスを起動するクラスター（前ページでパラメーター設定画面を確認したクラスター）をダブルクリックします。
「バーコード分解 区切り文字タイプ」の画面で、読み取るデータの区切り文字を選択します

拡大率 FIT

修理費用 ・ 請求内容

費用明細

費用項目	内訳	単価
作業費	内訳	単価
	内訳 (Code)	単価 (Cod
	(分解元)	単価 (分解)
部品費	(分解元)	単価 (分解)
	(分解元)	単価 (分解)
	(分解元)	単価 (分解)
	(分解元)	単価 (分解)

部品費

ネット...設定

カーボン...設定

帳票コピー...設定

カスタム...設定

バーコード分解設定

デバイスコード分解

バーコード分解 区切り文字タイプ

カンマ区切り タブ区切り バイト数指定区切り GS1-128

エンコード

shift_jis

区切り文字タイプを選択

OK キャンセル

バーコード分解情報

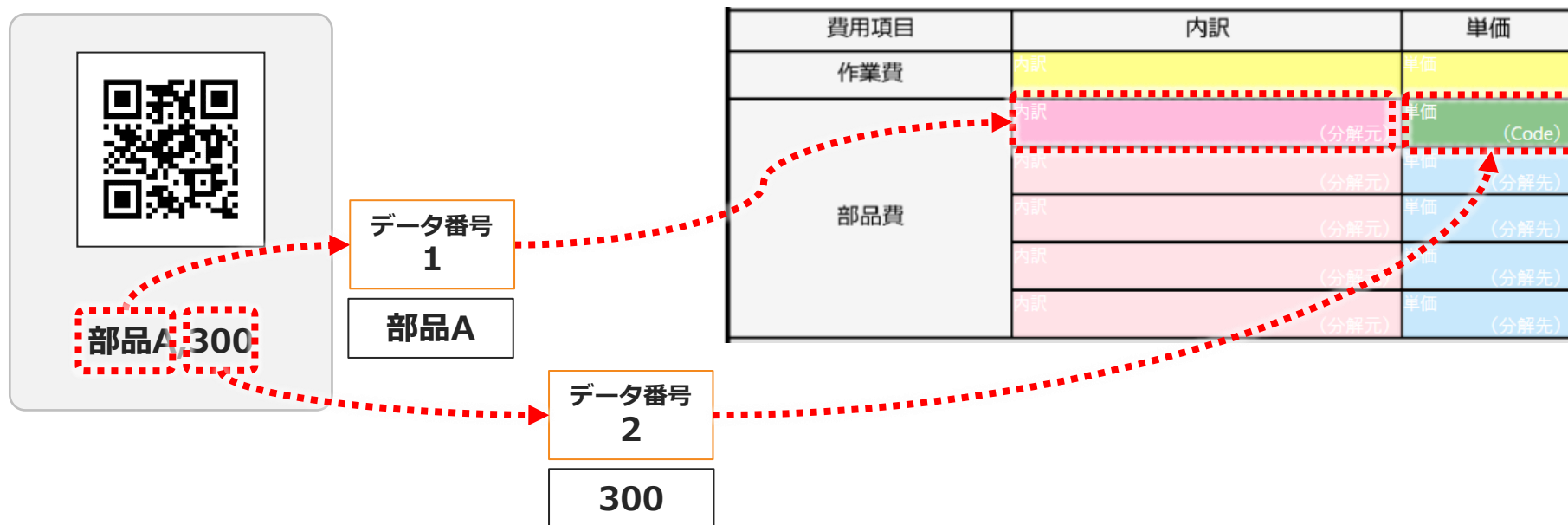
No	シートNo	クラスター-Index	クラスター名称
----	-------	-------------	---------

講習時の操作

ダブルクリックするクラスターは、部品費の内訳（上記の赤点線で囲まれている）です。
「バーコード分解 区切り文字タイプ」は「カンマ区切り」を選択します。

バーコード分解 設定手順 ③区切りデータとクラスターとの「関連付け」

- 区切り文字で分割されているデータを、先頭から順に「データ番号1」「データ番号2」の順に並んでいると考えます。
- 「データ番号〇」の値と、そのデータが入力されるクラスターの中の「関連付け」を行います。



バーコード分解 設定手順 ③区切りデータとクラスターとの「関連付け」

- ・ 設定手順の続きです。「区切り文字タイプ」の確認後、一覧画面が「バーコード分解 設定」画面に切り替わります。
- ・ 区切り文字で固定されたデータの「データ番号○」に該当するNo.の行をクリックします。続いてその値が入力されるクラスターをクリックします。
- ・ 全ての関連付けの終了後、「OK」ボタンをクリックします。

修理費用・請求内容			
費用明細			
費用項目	内訳	単価	数量
作業費	内訳	単価	数量
部品費	内訳 (分解元)	単価 (Code)	数量
	内訳 (分解元)	単価 (分解先)	数量
	内訳 (分解元)	単価 (分解先)	数量
	内訳 (分解元)	単価 (分解先)	数量
	内訳 (分解元)	単価 (分解先)	数量
作業費・部			

バーコード分解 設定			
No.	シートNo.	クラスターIndex	クラスター名称
親	1	27	内訳
1			
2			
3			

講習時の操作

はじめに「No.1の行」をクリックした後、「部品費の内訳」をクリックして設定します（上図の赤点線の動き）。次に「No.2の行」をクリックした後、「部品費の単価」をクリックします（上図の青点線の動き）。

帳票定義の作成

新規に登録する ⑦帳票定義の公開

帳票定義の公開

「公開」とは、ConMas Serverに帳票定義をアップロードし、i-Reporterアプリで入力帳票を作成/入力できる状態にする事をいいます。

①メインメニューの「公開する」をクリックし、②その後表示される確認ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the ConMas Server interface. In the top menu bar, the '公開する' (Publish) button is highlighted with a red dashed box and a red circle with the number '1'. A blue arrow points from this button to a confirmation dialog box titled 'Designer'. The dialog box contains the following text:

現在の帳票定義名称は下記のとおりです。
この帳票定義名称で保存します。

帳票定義名称：修理報告書_完成版

At the bottom of the dialog box, the 'OK' button is highlighted with a red dashed box and a red circle with the number '2'. The 'キャンセル' (Cancel) button is also visible.

講習時の操作

上記の手順に沿って、帳票定義の公開を行ってください。

帳票定義の改訂

登録済の帳票定義を改訂（リビジョンアップ）する

帳票定義の修正を行う場合の流れ

帳票定義の改訂（リビジョンアップ）を行う際は、元となる帳票定義に「履歴を重ねて」いきます



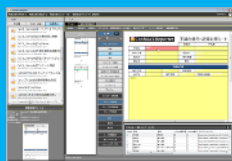
STEP 1 Excel 帳票定義出力

リビジョンアップを行うための元となる帳票定義を、「ConMas Designer」からExcelで出力します。



STEP 2 Excel 帳票定義の修正

出力したExcelファイルに、クラスターの追加削除やレイアウト変更といった修正を行います。



STEP 3 Excel 帳票定義の取込み、公開

STEP2で修正したExcelファイルを、STEP1の操作を行った帳票定義の改訂版として、「ConMas Designer」に再び取込み、必要な設定を行った後「公開する」操作で「ConMasサーバー」に保存します。

帳票定義の改訂

帳票定義のリビジョンアップ ①Excelファイルの出力

Excel帳票定義の出力

- ① ConMas Designer画面左の「帳票定義リスト」にある該当の帳票定義名をダブルクリックし、編集画面に表示します。
- ② メインメニューから「Excel定義出力」をクリックし、保存場所を指定して「保存」をクリックしダウンロードします。
- ③ 終了後「Excel帳票定義ファイルを出力しました」のダイアログが出たら「OK」をクリックします。



講習時の操作

上記の手順に沿って、Excelファイルの出力を行ってください。この時間では元のExcelファイルに「上書き保存」で結構です。

出力した「帳票定義Excelファイル」について ①クラスターIndex

各クラスターには、個々を識別するための「一意の数値」が設定されており、これを「クラスターIndex」といいます。クラスターIndexは「ConMas Designer」取込み時に自動で採番される値です。ConMas EXCEL COM Add-in（アドイン）またはセルごとに設定される「メモ」から確認できます。

The screenshot shows the 'ConMas i-Reporter 種別設定 (Version 8.0.21050.0)' window. On the left, a list of clusters is shown with '時刻' (Time) selected. The 'クラスター種類選択' (Cluster Type Selection) pane shows '時刻' selected. The 'クラスター名称' (Cluster Name) is '時刻', 'クラスター種別' (Cluster Type) is 'Time', and 'クラスター種別名称' (Cluster Type Name) is '時刻'. The 'クラスター-index' (Cluster Index) is set to '1'. Below the settings, a '修理報告書' (Repair Report) form is shown. The '作業日' (Work Date) field is set to '時刻' and the '時刻' (Time) field is set to '1'. The '修理担当情報' (Repair Responsible Information) section shows '所属支店' (Affiliated Branch) as '1' and '担当者' (Responsible Person) as '社員' (Employee). The 'お客様情報' (Customer Information) and 'ご利用製品' (Product Used) sections are also visible.



クラスターIndexが設定済のセルをコピー～ペースト操作をした場合、クラスターIndex が重複します。
その場合は「ConMas i-Reporter種別選択」画面内の「クラスター-index」に一意的番号を直接入力するか、空欄にします。

「ExcelOutputSetting」シート（設定内容が記述されたシート）が追加されます

「ConMas Designer」から出力したExcelファイルには、「ExcelOutputSetting」シートが追加されます。
このシートには、クラスター以外の各種設定情報がxml形式で記述されています。

10	顧客ID					
11	会社名					
12	住所					
13	TEL		FAX			
14	担当者					
15	保守契約の加入	加入		非加入		
16						
17	修理内容					
	修理報告	請求書	修理実績の確認	ExcelOutputSetting		+



「ExcelOutputSetting」シートは、帳票定義情報の保持のためのものです。
シート名称の変更、同一シート名称の使用や内容の変更は行わないように（=このシートには手を加えない）
してください。

帳票定義の改訂

リビジョンアップ ②Excelファイルの編集

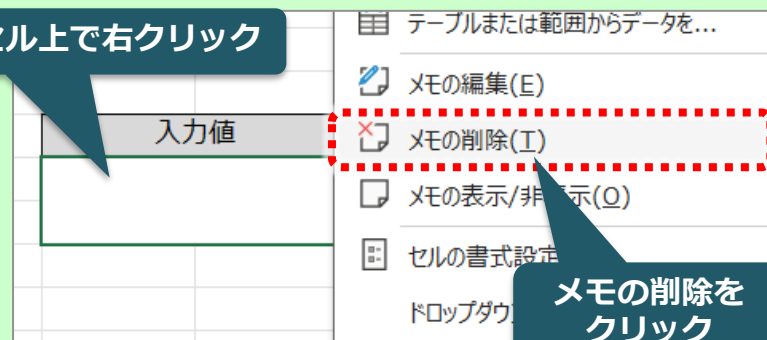
アドインを使ったクラスターの設定や、Excelのレイアウト変更などの編集を行います

クラスターの設定方法は、新規に帳票定義を作成する場合と同じです。

【参考】クラスターを削除するには

Excelファイル上で、セルに設定された「メモ」を削除します

セル上で右クリック



メモの削除をクリック

印刷範囲の再確認

- ・ レイアウト変更等で印刷範囲の設定が変わっている場合は、改めてリボンメニュー内の「ページレイアウト」から「印刷範囲のクリア」～「印刷範囲の設定」を行います。

保存

- ・ 上書き保存します。

講習時の操作

次ページの内容でクラスターの新規設定や式の入力を行います。

終了後は、そのまま上書き保存してください（上記の「印刷範囲の再確認」は、本日は行わずに進めて構いません）。

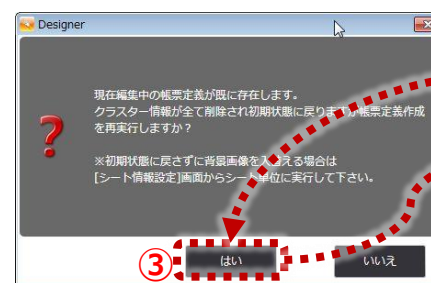
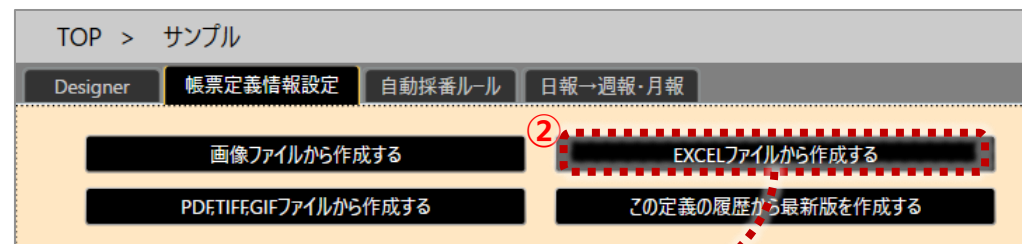
帳票定義の改訂

リビジョンアップ ③ExcelファイルのConMas Designerへの取り込み

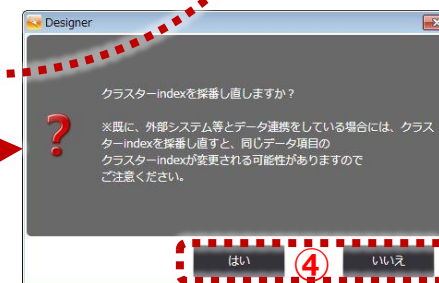
リビジョンアップ用Excel帳票定義ファイルの取り込み

変更前の帳票定義を表示している状態で、修正したExcel帳票定義ファイルを取り込みます

- ① 元となる帳票定義を開いている状態で「帳票定義情報設定」タブをクリックします。
- ② 切り替えた画面上部にある「EXCELファイルから作成する」をクリックします。



- ③ 処理中に表示されます。「はい」をクリックし、編集したExcel帳票定義ファイルを開きます。



- ④ ③の操作後に表示されます。「はい」「いいえ」いずれかを選択します。(次ページ参照)



帳票定義を修正する場合、**Excel 定義の取込みは必ず帳票定義を表示している状態で行ってください**
(帳票定義を表示せずにExcel帳票定義を取込みサーバーへ保存すると、「新規帳票定義」として登録されます)

取込み時の「クラスターIndexの採番し直し」について

設定済みのIndexに対する処理方法を選択します

クラスターIndexは、クラスターを識別するためにシート単位でクラスターに割り振られる値で、Excel帳票定義ファイルを再取込みする際に「採番し直す」「採番し直さない」のいずれかを選択できます。

① 採番し直す（画面の「はい」をクリックする）場合

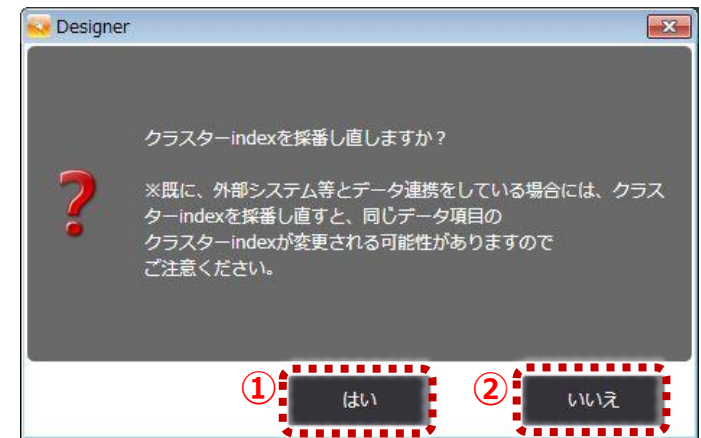
「Index採番済」のクラスターと「Index未採番」のクラスターの全てに対して、クラスター値を上から順番に割り当てます。「未採番」のクラスターの位置によっては、「採番済」のクラスターに現在設定されているIndexの値が変わる場合があります。

クラスターに入力したデータと社内システムとの連携を「Indexで関連付けしている」場合、関連付けの内容（Indexの組み合わせ）を見直す必要が生じます。

※ なお、計算式/ネットワーク設定/カーボンコピー設定などで利用されているIndexの値は、整合性を保つように変更します。

② 採番し直さない（画面の「いいえ」をクリックする）場合

「採番済」クラスターのIndexの値はそのまま、「未採番」のクラスターにのみ、新たな番号を割り当てます。



改訂（リビジョンアップ）すると「リビジョン番号」が付与されます

帳票定義のリビジョンアップについて

ConMas i-Reporterでは、帳票定義に編集を行った場合、編集前の内容を「履歴」として残し、編集後の帳票定義を新たに作成する仕組みとなっています。

この仕組みのことを「リビジョンアップ」と呼びます。

帳票定義には、個々のリビジョンごとに「定義ID」と「リビジョン番号」が付与されます。

帳票定義のリビジョンアップのタイミング

ConMas Designer で「公開済み」に属している帳票定義を表示し、「保存する」「公開する」「テストする」をクリックすると、リビジョンアップが行われます。

「公開済み」タブで登録されている帳票定義をクリックすると、帳票定義の情報が表示され、「帳票定義ID」と「リビジョン番号」が確認できます

非公開	テスト公開	公開済み
		<p>修理報告書_完成版 最終更新 Ver.8.0.21060 ID=486,2021-06-29 08:03:35.379024, Rev.2</p>
		<p>全クラスター インプットサンプル 最終更新 Ver.8.0.21060 ID=487,2021-06-29 08:03:12.04064, Rev.5</p>

帳票定義プレビュー	
帳票定義ID	486
帳票定義名	修理報告書_完成版
クラスター数	123
作成時刻	2021/06/29 07:56:48
更新時刻	2021/06/29 08:03:35
リビジョン番号	2

帳票定義の改訂

リビジョンアップ ④パラメーター設定

各クラスターの設定内容（計算式クラスターの非表示）

⑮ クラスター名称：未設定

・「クラスター表示」にチェック

⇒ タブレット上で、この計算式クラスターが非表示となります。

ご参考

ConMas EXCEL COM Add-in（アドイン）の操作時にクラスター名称が未設定の場合、設定されるクラスター名称は「クラスター」の文字の後ろに「クラスターのインデックス値」となります。
例：Index22のクラスターの場合は「クラスター22」

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前 クラスター22

種別 計算式

帳票コピー時に
帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
 デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示
このクラスターにフォーカスして iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
連携用テーブル 入力待ちの状態起動する。
サーバーからのEXCEL出力時 連携用テーブルに出力
 入力値ではなく表示値を出力する。

制約 必須入力

計算結果データ型 その他

データ型と計算結果が不一致の場合 エラー表示する

小数点以下ケタ数 0

最小値 -999999999

最大値 999999999

計算式 =IF(S1C14=TRUE,0,S1C47)

検証方法 シグナル表示

クラスター表示 この計算式クラスターをタブレット上に表示しない

Windows版での日跨ぎの時刻減算 時刻計算クラスターと同様に24時間以内で減算する
(チェックを外すとiOS版と同様に通常の減算となります)

デフォルトにする

OK キャンセル

各クラスターの設定内容（アクションクラスター）

⑰ クラスター名称：保存

- ・「**ボタン形式**」にチェック
⇒ボタンが表示されるようになります。
- ・「**ボタン表示文字列**」に任意の文字を入力
⇒ボタンに表示される文字になります。
- ・「**背景色**」に任意の色を選択
⇒ボタンの色を決めます。
- ・「**文字縦配置指定**」で「**Center**」を選択
⇒ボタンに表示する文字の、クラスター内の位置を設定します。
- ・「**文字色**」に任意の色を選択
⇒ボタンに表示する文字の色を決めます。
- ・「**アクション種別**」で「**サーバー送信メニュー**」を選択
⇒ボタンの動作を決めます。
- ・「**サーバー送信メニュー**」で「**サーバーに保存し編集終了**」を選択
⇒保存操作の具体的な動作を決めます。

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前 保存

種別 アクション

帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
帳票コピー時に デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示 iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
このクラスターにフォーカスして 入力待ちの状態でも起動する。
連携用テーブル 連携用テーブルに出力

ファイル出力時の表示 PDF、EXCELファイル出力時にクラスターを表示する
ボタン形式 ボタン形式で表示する
ボタン表示文字列 保存
背景色 LightBlue

文字縦配置指定 Center
書体指定 Arial
文字サイズ 11
文字太さ Bold
文字色 Black

アクション種別 サーバー送信メニュー
サーバー送信メニュー サーバーに保存し編集終了
実行後に開くURL

デフォルトにする

OK キャンセル

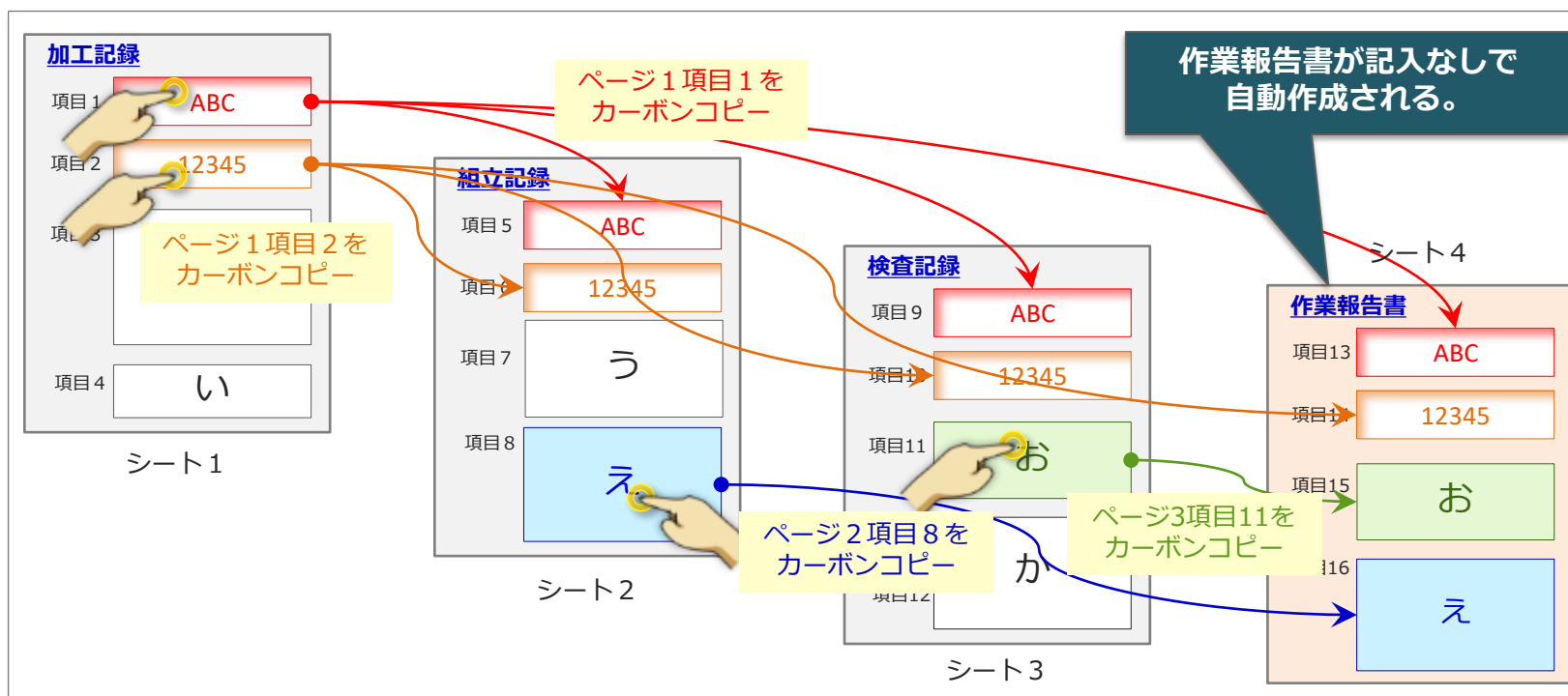
帳票定義の改訂

リビジョンアップ ⑤カーボンコピー設定

入力値を、別のクラスターにコピーします

- ・ あるクラスターに入力した値を、別のクラスターに自動的に入力（コピー）することができます。
- ・ 別シートのクラスターだけでなく、同一シート内のクラスターにもコピーするように設定できます。

カーボンコピー設定の例



詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）
「ConMas Designer ネットワーク / カーボンコピー 操作説明書」
https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/Network_CarbonCopySetting_jp.pdf

カーボンコピー 設定方法

- ConMas Designerのクラスターモードを「カーボンコピー設定」に切り替えます。
- 続いて、「コピー元」のクラスターをクリックします（クリックするとクラスター右下に「選択中」と表示されます）。
- 次に「コピー先」のクラスターをクリックします。別シートのクラスターに設定する場合は、クラスターモードの左側のシート一覧で、コピー先のクラスターがあるシートのサムネイルをダブルクリックして、表示を切り替えます。
- 設定確認のダイアログが表示されるので、「はい」をクリックします。

コピー元のクラスターをクリック

クラスターモードは「カーボンコピー設定」

シートを跨ぐ場合、「シート一覧」内のコピー先になるシートをダブルクリックして、表示を切り替え

ご請求書

コピー先のクラスターをクリック

確認ダイアログの「はい」をクリック

カーボンコピー 補足（カーボンコピー一覧）

「カーボンコピー設定」選択中は、「クラスター一覧」が「カーボンコピー一覧」に変わります。
設定後は、一覧に新しい行が追加されます。

カーボンコピー 一覧					
コピー元シートNo.	コピー元index	コピー元クラスター名称	コピー先シートNo.	コピー先index	コピー先クラスター名称
1	0	作成日	2	31	作成日-2
1	1	部署名	2	32	部署名-2
1	2	作成者	2	33	作成者-2

任意の行で右クリックメニューから、カーボンコピー設定を削除できます。
複数行を選択して一括削除することもできます。

カーボンコピー 一覧					
コピー元シートNo.	コピー元index	コピー元クラスター名称	コピー先シートNo.	コピー先index	コピー先クラスター名称
1	0	作成日	2	31	作成日-2
1	1	部署名	2	32	部署名-2
1	2	作成者	2	33	作成者-2

右クリックメニュー: カーボンコピー削除

帳票定義の改訂

リビジョンアップ ⑥帳票名称自動作成

入力帳票の保存時に、あらかじめ設定した命名規則で帳票名が作成されます

個々の入力帳票が名称で区別できるように、入力帳票を保存する際にファイル名を指定した条件で自動作成できます。

※この設定を行わない場合、入力帳票に設定されるファイル名は帳票定義と同じになります。

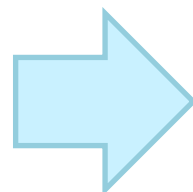
たとえば、帳票定義名称が「修理報告書」の場合、入力帳票のファイル名は全て「修理報告書」となります。

入力帳票の名称に
①作成日 ②帳票定義名 ③クラスターに入力した値
の内容が、順に反映されるように設定

「2024年1月1日」に
入力帳票を作成

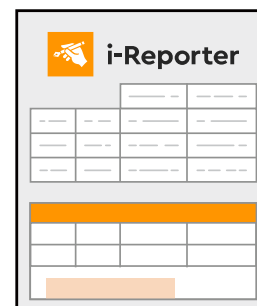
帳票定義の名称は
「修理報告書」

あるクラスターに
「シムトップス」と入力



サーバーに
保存

指定した条件で
入力帳票の名称が生成される



入力帳票の名称
2024年1月1日_修理報告書_シムトップス

詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）

「ConMas Designer 帳票名称自動作成」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/AutomaticDocumentNaming_Setting_jp.pdf

帳票名称自動作成 設定手順 ①設定画面の起動

「帳票定義情報設定」タブ画面の上部にある「帳票名称自動作成設定」で行います。
「設定」ボタンをクリックすると、帳票名称自動作成設定画面が起動します。

The screenshot shows the '帳票定義情報設定' (Invoice Definition Information Setting) screen. The '帳票名称自動作成設定' (Automatic Invoice Name Setting) section is highlighted with a red dashed box. A callout bubble points to the '設定' (Settings) button.

Designer | **帳票定義情報設定** | 自動採番ルール | 日報→週報・月報 | i-Repo Scan設定

画像ファイルから作成する | EXCELファイルから作成する | EXCELのCOM参照を使用してEXCELファイルを取込む

PDF/TIFF/GIFファイルから作成する | この定義の履歴から最新版を作成する | キャンセル

■ 帳票定義名称 [ID:-1]
修理報告書_XX

■ 帳票名称自動作成設定
修理報告書_XX

プレビュー | **設定**

設定ボタンをクリック

新規に帳票定義を取込む時点では「設定」ボタンは非表示です。取込み後（「Designer」タブが表示された状態）に設定できます。

講習時の操作

上記の操作を行います。

帳票名称自動作成 設定手順 ②設定画面の操作

入力帳票の名称として使用する「情報の種類」と「書式」や「使用する具体的な情報の内容」といった条件を設定します。
設定した内容を反映したプレビューで、確認できます。

プレビュー 2021年12月06日_修理報告書_完成版_クラスター値

■帳票名称自動作成設定

- 帳票情報
- 作成日
- 作成日時
- 作成時刻
- ユーザー情報
- クラスター値
- クラスター表示値
- 任意文字列

表示順を変更する場合、該当の項目を選択し上下に移動させます

設定内容をプレビュー表示します
※未設定時は、帳票定義名称が表示されます

一覧から削除する場合は、設定済の項目を選択後、このボタンをクリックします

名称を作成する際のルールを設定します
「Type (左側)」と「Value (右側)」からルールを指定し、「+」ボタンで設定します
※ TypeとValueに関しては次頁以降をご参照ください

設定した項目の一覧を表示します

「OK」で、設定を決定
「キャンセル」は、何もせず画面を閉じます

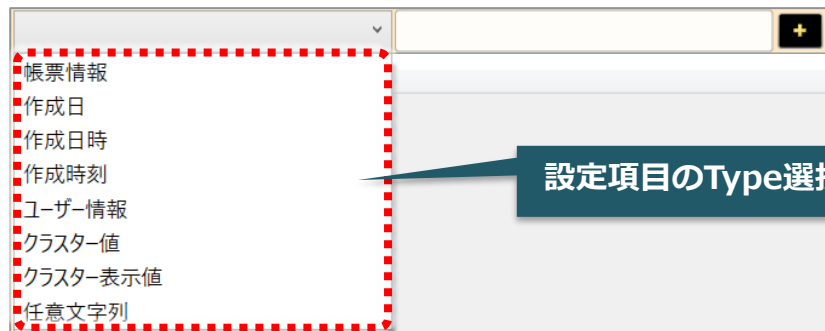
OK キャンセル

講習時の操作

次ページをご参照ください。

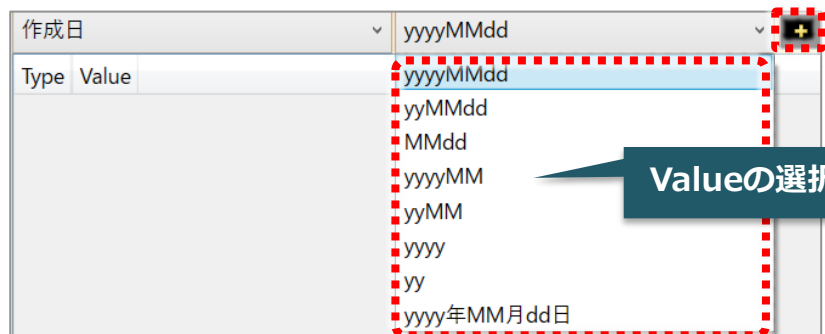
帳票名称自動作成 設定手順 ②設定画面の操作

① 設定項目の「Type」をコンボボックスより選択します。Typeには以下の種類があります。



- 帳票情報 : 帳票名称、帳票備考情報
- 作成日 : 帳票保存時の年月日
- 作成日時 : 帳票保存時の年月日時分
- 作成時刻 : 帳票保存時の時分
- ユーザー情報 : 帳票保存したユーザーのIDやユーザー名
- クラスター値 : 指定したクラスターに入力された値
- クラスター表示値 : 指定したクラスターに表示された値
- 任意文字列 : 任意の文字列

② 続いて「Value」を設定します。設定後「+」アイコンをクリックします。



- 選択したTypeにより、設定方法が異なります**
- ・ 帳票情報/作成日/作成日時/作成時刻/ユーザー情報を選択した場合
コンボボックスから選択します
 - ・ ユーザー情報/クラスター値/クラスター表示値
クラスターのシート番号及びインデックスを半角数字で入力します
 - ・ 任意文字列
任意の文字列を入力します

講習時の操作

右表の1)~3)の順に設定します。
操作手順は上記①→②の順です。

設定	Type	Value
1)	作成日	任意の値を選択
2)	帳票情報	帳票定義名称
3)	クラスター値	1,7 (「会社名」クラスターの入力値) と入力

帳票名称自動作成 設定手順 ③登録と確認

設定画面の「OK」をクリックして閉じます。プレビューに設定内容が表示されます。

※ 設定内容はサーバーに帳票定義を保存する事で保存されます。



講習時の操作

上記の操作を行って、設定を完了します。

帳票定義の作成

リビジョンアップ ⑦帳票定義の公開

帳票定義の公開

- ① メインメニューの「公開する」をクリックします。
- ② 編集画面がアプリ起動時の状態に戻れば、登録完了です。

※ 設定内容に不備がある場合は、登録できずエラーメッセージが表示されます。内容を確認して修正を行ってください。

The screenshot displays the ConMas Designer software interface. The main window shows a menu bar with options like '一時保存' (Save Draft), '保存する' (Save), '公開する' (Publish), and 'テストする' (Test). The '公開する' button is highlighted with a red dashed box and a red arrow pointing to a second window. The second window shows the '公開済み' (Published) status, indicating that the registration is complete.

Index	名前	種別	iPhone表示順	iPhone表示	入力ラメーター
25	チェック	チェック	25	1	Required=0;Marker=Circle;Li
26	チェック	チェック	26	1	Required=0;Marker=Oval;Li
27	チェック	チェック	27	1	Required=0;Marker=CheckB
28	チェック	チェック	28	1	Required=0;Marker=CheckL
29	チェック	チェック	29	1	Required=0;Marker=FillOval
30	チェック	チェック	30	1	Required=0;Marker=FillRect

帳票定義や入力帳票の管理/入力データ-ターの出力

ConMas Manager 操作概要

「帳票定義」メニュー レイアウト

- ① 帳票定義の一覧が表示されます。
- ② 帳票定義名称の青い文字をクリックすると画面が変わり、選択した帳票定義の基本情報や各種設定内容が確認できます。
(次ページ参照)
- ③ 公開/テスト等、帳票定義の登録ステータスを切り替えることができます。

ConMas Manager ログイン中: am51 [ログアウト]
Version:8.0.21010

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー システム管理

すべて閉じる | すべて開く

公開 シート セット ブック

表示件数 100 1 / 1 (8)

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
485	全クラスター インプットサンプル サンプル カスタムメニュー	477	4	対象外	2021/02/26 08:24	cimtops	2021/02/26 08:24	cimtops
484	【デモ】 アンケート用紙 カスタムメニュー	484	1	対象外	2021/02/18 15:52	cimtops	2021/02/18 15:52	cimtops

詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）

「ConMas Manager 帳票定義の管理」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/manager/FormManagement_jp.pdf

個別の帳票定義の情報画面

前ページ②の操作後、表示される画面

「基本情報」画面で、帳票定義の名称、ID番号、初回登録時に設定された元定義ID番号、各種設定情報や帳票定義の更新履歴等が確認/編集できます。

※ 帳票定義/入力帳票に設定する「ラベル」や「権限」については、活用編の権限管理でご案内しています。

The screenshot displays the 'ConMas Manager' interface. The top navigation bar includes '帳票定義' (Form Definition), '入力帳票' (Input Form), 'データ出力' (Data Output), '自動帳票作成' (Automatic Form Creation), 'ラベル管理' (Label Management), '図書管理' (Library Management), 'スケジュール' (Schedule), 'カスタムマスター' (Custom Master), 'カスタムメニュー' (Custom Menu), and 'システム管理' (System Management). The current page is titled '定義名：修理報告書_完成版' (Definition Name: Repair Report Form - Final Version). The left sidebar shows a tree view of the definition structure, with 'ラベル' (Label) and '権限' (Permissions) highlighted with a red dashed box and a red asterisk. The main content area features a green '公開' (Public) button. A preview window titled 'GetPdf' shows a PDF of the repair report form, which includes sections for '作業日' (Work Date), '時刻' (Time), '修理担当情報' (Repair Responsible Information), and 'お客様情報' (Customer Information).

修理報告書			
作業日		時刻	
修理担当情報			
所属支店		担当者	
		1 社員	2 委託
お客様情報		ご利用製品	
顧客ID		メーカー名	

「入力帳票」メニュー レイアウト

- ① 画面左にあるメニュー画面で「すべて」をクリックすると、サーバーに保存されている入力帳票の一覧が表示されます。
- ② 帳票定義名称の青い文字をクリックすると画面が変わり、選択した入力帳票の基本情報やクラスター毎の詳細情報が確認できます（次ページ参照）。

The screenshot shows the ConMas Manager interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票' (highlighted with a red dashed box), 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', 'カスタムメニュー', and 'システム管理'. The user is logged in as 'am51' (Version: 8.0.21010). Below the navigation bar, there is a search area with a search box, a dropdown for 'am51さん担当分', and a '公開' dropdown. A table of documents is displayed with columns: ID, 帳票名称, 元ID, REV, 状態, 登録日時, 登録者, 更新日時, and 更新者. The first row is highlighted with a red dashed box, showing ID 30 and the name '2021年05月10日_修理報告書_完成版_株式会社FFF商事'. The second row shows ID 18 and the name '修理報告書_スケジュール用'. On the left side, a sidebar menu is visible with 'すべて' (highlighted with a red dashed box) and other options like 'ラベルなし', 'サンプル', '活用編', '権限管理ハンズオン', '帳票コピーハンズオン', and '計算式サンプル'.

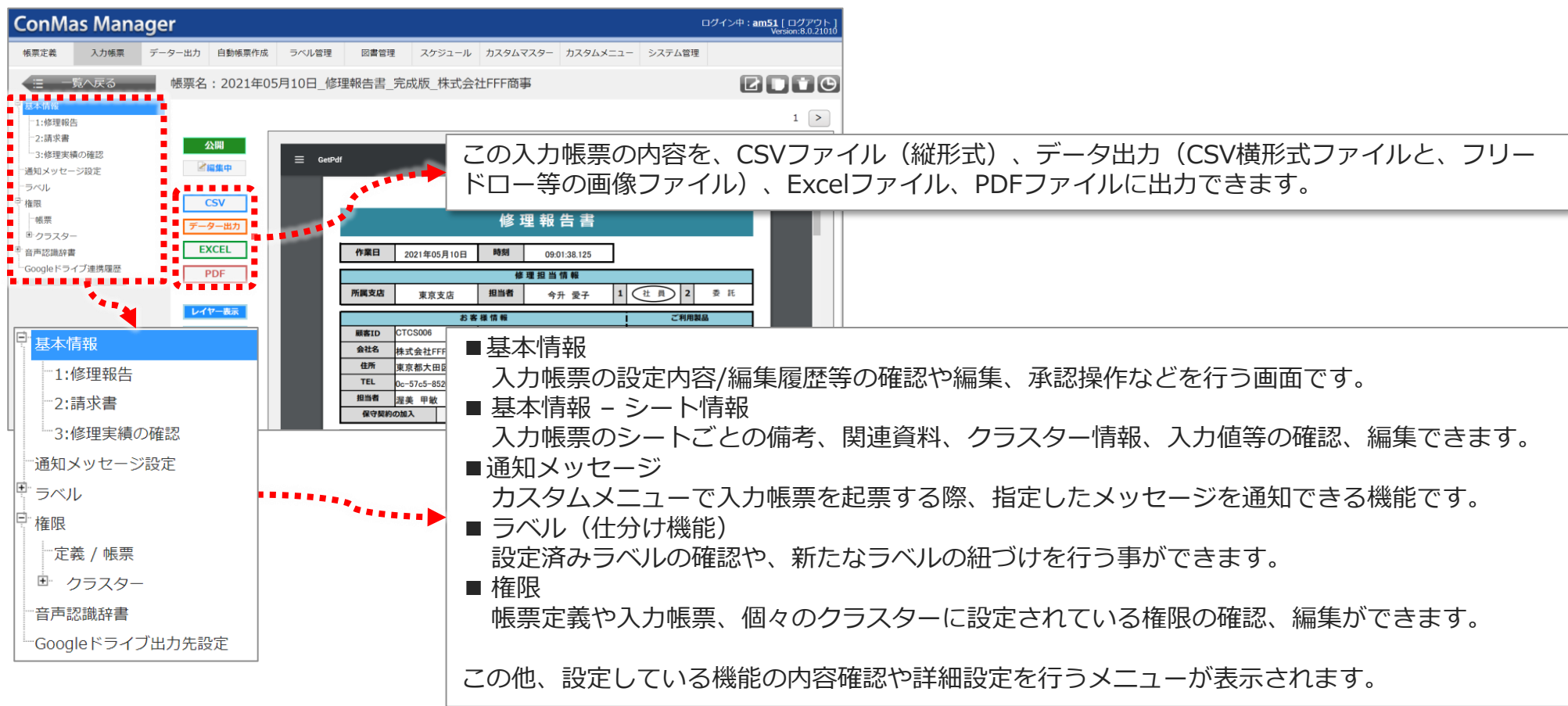
ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時	登録者	更新日時	更新者
30	2021年05月10日_修理報告書_完成版_株式会社FFF商事	30	1	編集集中	2021/05/10 09:11	cimtops	2021/05/10 09:11	cimtops
18	修理報告書_スケジュール用	18	1	入力前	2018/07/02 18:10	cimtops	2018/07/02 18:11	cimtops

詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）
「入力帳票の管理」
https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/manager/InputDocumentManagement_jp.pdf

個別の入力帳票の情報画面

前ページ②の操作後、表示される画面

「基本情報」画面で、入力帳票の名称、ID番号、元となる帳票定義の情報、各種設定情報や更新履歴等が確認/編集できます。プレビュー左の「CSV」「データ出力」「EXCEL」「PDF」ボタンで、この入力帳票のデータを出力できます。



この入力帳票の内容を、CSVファイル（縦形式）、データ出力（CSV横形式ファイルと、フリードロー等の画像ファイル）、Excelファイル、PDFファイルに出力できます。

基本情報
入力帳票の設定内容/編集履歴等の確認や編集、承認操作などを行う画面です。

基本情報 - シート情報
入力帳票のシートごとの備考、関連資料、クラスター情報、入力値等の確認、編集できます。

通知メッセージ
カスタムメニューで入力帳票を起票する際、指定したメッセージを通知できる機能です。

ラベル（仕分け機能）
設定済みラベルの確認や、新たなラベルの紐づけを行う事ができます。

権限
帳票定義や入力帳票、個々のクラスターに設定されている権限の確認、編集ができます。

この他、設定している機能の内容確認や詳細設定を行うメニューが表示されます。

修理報告書	
作業日	2021年05月10日
時刻	09:01:38.125
修理担当情報	
所属支店	東京支店
担当者	今井 愛子
1	社員
2	委託
お客様情報	
顧客ID	CTCS006
会社名	株式会社FFF
住所	東京都大田区
TEL	03-5765-852
担当者	近美 甲敏
保守契約の加入	

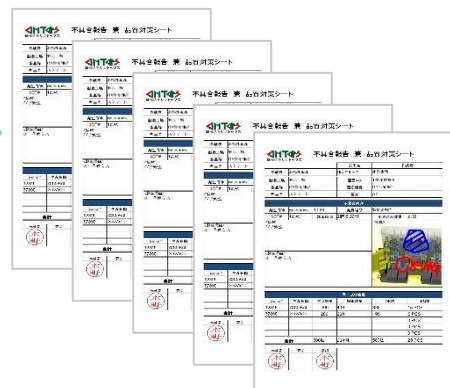
データ出力（複数の入力帳票データをまとめて出力する機能）

出力は、各入力帳票単位または複数入力帳票を一括して出力することが可能です。

入力帳票データはCSV以外に、EXCEL、PDF、帳票に挿入された画像ファイルも同時に出力することができます。



<帳票定義A>



<帳票定義Aから作成した帳票>



指定したクラスター

帳票ID	帳票名称	検査者名	検査ランク	製造数	検査数	再加工数	不良数	良品数
121	品質記録2012/10/01-001	伊藤	a	300	300	5	0	295
122	品質記録2012/10/01-002	伊藤	a	400	400	5	0	395
123	品質記録2012/10/01-003	伊藤	a	200	200	0	0	200
124	品質記録2012/10/01-004	伊藤	b	350	350	5	2	343
125	品質記録2012/10/01-005	上戸	a	300	300	0	0	300
126	品質記録2012/10/01-006	尾本	a	200	200	0	0	200
127	品質記録2012/10/01-007	伊藤	a	200	200	0	0	200
128	品質記録2012/10/01-008	上戸	c	350	350	10	15	325
129	品質記録2012/10/01-009	尾本	a	100	100	1	0	99
120	品質記録2012/10/01-010	尾本	a	250	250	5	0	245



詳細資料はサポートWeb内の下記URLのドキュメントをご参照ください（サポートWebはログインが必要です）

「ConMas Manager 帳票データ出力機能」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/manager/DocumentData_OutputFunction_jp.pdf

データ出力 操作手順 ①対象の帳票定義を指定

- ① 画面上部の「データ出力」をクリックすると、帳票定義の選択画面が表示されます。
- ② 出力する帳票定義名称の左にあるチェックボックスにチェックを入れます（複数の帳票定義を選択することも可能です）。
- ③ チェックの入力後、画面右上の「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the ConMas Manager interface with the 'データ出力' (Data Output) menu item highlighted. A table of invoice definitions is displayed below. The table has columns for ID, Definition Name, Element ID, Revision, Status, Registration Date, and others. The last row is selected, and its checkbox is checked. A '次へ' (Next) button is visible in the top right corner.

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	更新日時	更新者
<input type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用02	507	2	対象外	2021/05/11 16:19	2021/05/11 16:19	am02
<input type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用16	530	1	対象外	2021/05/11 16:18	2021/05/11 16:18	am16
<input type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用07	508	2	対象外	2021/05/11 16:18	2021/05/11 16:18	am07
<input type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用04	407	2	対象外	2021/05/11 16:18	2021/05/11 16:18	am04
<input type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用20	505	2	対象外	2021/05/11 16:18	2021/05/11 16:18	am20
<input type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用10	503	2	対象外	2021/05/11 16:18	2021/05/11 16:18	am10
<input checked="" type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用51	504	2	対象外	2021/05/11 16:18	2021/05/11 16:18	am51

データ出力 操作手順 ②対象の入力定義を指定

- ① 選択された「帳票定義」をもとにして作成された「入力帳票」の一覧が表示されます。
データ出力を行う入力帳票にチェックします。
- ② 確認後、「次へ」をクリックすると、データの出力項目の設定画面へ遷移します。

ConMas Manager

ログイン中 : am51 [ログアウト]
Version: 8.0.21010

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー システム管理

定義選択へ戻る データ出力 am51さん担当
ラベル検索: [検索] 公開 [-編集ステータス-] シート セット プリンター

抽出した帳票をすべて選択 [すべて表示]

ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時	登録者	更新日時	表示件数
<input checked="" type="checkbox"/>	会社	63	1	編集 中	2021/05/11 16:25	am12	2021/05/11 16:25	am12
<input checked="" type="checkbox"/>	20210511_修理報告書_定義作成ハンズオン用51株式会社 FFF商事	56	1	編集 中	2021/05/11 16:25	am51	2021/05/11 16:25	am51
<input checked="" type="checkbox"/>	20210511_修理報告書_定義作成ハンズオン用51	52	1	編集 中	2021/05/11 16:25	am13	2021/05/11 16:25	am13
<input checked="" type="checkbox"/>	修理報告書_定義作成ハンズオン用51	32	1	編集 中	2021/05/11 14:55	am51	2021/05/11 14:55	am51

① 対象の帳票定義にチェック

② 「次へ」をクリック

表示件数 100 1 / 1 (4)

データ出力 操作手順 ③出力項目の選択

- ① 出力項目の指定は、帳票定義ごとに設定します。
- ② 初期状態は、全ての項目が出力対象となっています。
- ③ 確認後、「次へ」をクリックすると、データの出力項目の設定画面へ遷移します。

ConMas Manager

ログイン中 : am51 [ログアウト]
Version:8.0.21010

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | カスタムメニュー | システム管理

帳票選択へ戻る

出力項目の選択

525 修理報告書_定義作成ハンズオ

① 出力項目を設定する帳票定義を選択

データ出力対象帳票

Managerデータ出力設定 | 自動出力CSVレイアウト設定

保存 | クリア

▼出力タイプ

CSV PDF,Excelのみ

入力クラスター画像および録音データを含む PDFを含む Excelを含む ※Excelから作成された帳票定義のみ

	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 入力値 <input type="radio"/> 表示用文字列	クラスター項目名
24	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 入力値 <input type="radio"/> 表示用文字列	作業日
25	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 入力値 <input type="radio"/> 表示用文字列	時刻
26	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 入力値 <input type="radio"/> 表示用文字列	所属支店
27	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 入力値 <input type="radio"/> 表示用文字列	担当者
28	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 入力値 <input type="radio"/> 表示用文字列	社員

② 出力するタイプや、出力させたい項目をチェック

次へ

③ 「次へ」をクリック

データ出力 操作手順 ④データ出力

- ① CSV出力内容プレビューにて、実際に出力されるデータをプレビュー可能です（1定義につき3帳票まで）。
- ② 「帳票データ出力」をクリックすると、データがConMasサーバーより出力されダウンロードされます。

出力確認

 帳票データ出力

② 「帳票データ出力」ボタンをクリック

作成ハンズオン用51

データがZIP圧縮形式で出力されます。
※ダウンロード操作方法はブラウザにより異なります

出力対象帳票ID	出力対象帳票名	最終更新者	最終更新日時
32	修理報告書_定義作成ハンズオン用51	am51	2021/05/11 14:55:55
52	20210511_修理報告書_定義作成ハンズオン用51	am13	2021/05/11 16:25:31
	20210511 修理報告書 定義作成ハンズオン用51株式会社	51	2021/05/11 16:25:35
		12	2021/05/11 16:25:40

① 出力される入力帳票データのプレビューが表示されます
(1定義あたり3帳票まで)

CSV出力内容 プレビュー

定義ID	作業日	時刻	所属支店	担当者	担当者
504	2021/05/11	14:50:00	札幌支店	細川	true
525	2021/05/11				true
525	2021/05/11	16:21:00	東京支店	細川	true

CSV_20210512083....zip

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2019-10-16	Rev.1.0.0	--	初版を発行しました。
2020-03-19	Rev.1.1.0	--	サポートWebのマニュアル検索方法変更に伴い記載のURL変更等を行いました。
2020-12-15	Rev.1.2.0	--	ロゴマーク等の変更を行いました。
2021-03-09	Rev.1.2.1	--	古い画像を最新化しました。
2021-05-06	Rev.1.3.0	--	古い画像の最新化、一部説明内容の加筆削除を行いました。
2021-06-28	Rev.1.3.1	--	関連資料のURLを更新しました。
2021-12-20	Rev.1.4.0	--	ConMas Designerのデザイン変更に対応
2022-01-25	Rev.1.5.0	--	講習会タイトルを「初期設定・基本操作編」に変更しました
2022-04-18	Rev.1.5.1	--	画像の一部と表現を最新化しました
2022-04-26	Rev.1.5.2	60	誤記の修正を行いました。
2024-01-09	Rev.2.0.0	--	説明内容を大幅に見直しました。